

【2127】 教養科目 自然分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
自然科学概論			講義	友田志郎	2年	後期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30		2					期末試験	70	有	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》 基礎知識の体系的 理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		《汎用的技能》 コミュニケーション スキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			《態度・志向性》 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を 総合的に利用し、 自ら設定した課題へ適 した課題を解決する 能力》	期末レポート		
	○	—	○	—	—	—	—	—		—	—	○
当該科目の キーワード	《知識・理解》		人類史 科学技術史 地球史						期末試験については、正答例を示す			
	《汎用的技能》											
	《態度・志向性》								アクティブラーニングの有無 (内容)		無	
授業概要	人類の歴史と科学・技術・知識・知恵の発展との関わりを中心に、自然科学の様々な分野の歩みを幅広く講義する。											
授業の 到達目標	人類(ヒト属)の出現と地球への影響、人類の科学と技術の発展史、近代社会と科学の関係などについて学び、人類社会の今後の科学技術の進展を歴史の流れの中で捉えるための知見を得る。											
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。											
授業計画 (予習、復習の内容・ 時間含む)	回	内 容										
	1	ヒト属の歴史。農耕の始まりと家畜化 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
	2	ヒトの歴史と科学革命 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
	3	最初の科学としての天文学と暦 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
	4	宇宙観の歴史 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
	5	物質の根源。原子論。近代化学の誕生と発展 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
	6	運動と力学 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
	7	電気と磁気。原子論の急速な発展 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
	8	生物の分類。微生物の発見。生命と自然発生論 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
	9	創造論と進化論。生氣説と有機合成 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
	10	医学と疫病 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
	11	動力とエネルギー 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
	12	情報。コンピュータの発展 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
	13	太陽系と地球・月の成り立ち。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
	14	地球の生命史 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
	15	科学的思考 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。										
教科書・教材	特になし											
参考書・ 参考文献等	特になし											
履修上の 注意等	試験はノート・資料の持ち込みを前提として行うので、暗記は必要ないが、講義内容をしっかりと理解し、復習時にノートした内容を整理すること。											
実務経験との 関連	実務経験の有無	無										

[2145] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
時事英語 I			演習	杉本久美子	2年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1					期末試験 70 有	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 30 有 その他 計 100 フィードバックの方法	
	○	○	—	○	—	○	—	—		○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		時事問題に関してメディア英語を通して理解を深める。							期末試験は採点后返却し、解答の説明を行う。授業内活動と提出物についてはその都度内容確認と所見を伝える アクティブラーニングの有無(内容) 有
	≪汎用的技能≫		時事英語の特性およびICTの活用による情報獲得能力を身につける。							
	≪態度・志向性≫		生涯にわたって英語を学ぶ姿勢と方法を習得する。							
授業概要	様々なメディアを通して発信される世界中のニュースに英語で触れることによって、世界の現状を知る。社会・文化・教育・科学・環境問題など多様な英語に接し、Reading, Listening, Speaking, Writingといった英語運用能力を多角的に培えるようにする。								授業内での書き取り、英文和訳等	
授業の到達目標	時事英語の特性を理解し、ニュース英語の基礎的知識を習得する。媒体によって異なる英語の特性を把握し、ニュース内容を把握する基礎的能力を身につける。									
単位認定の要件	期末試験(70%)授業内活動(30%)の合計が60点以上で単位認定とする。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	授業概要説明(使用テキスト、授業展開方法、成績評価方法について)Unit 1 導入 予習:(30分) 使用テキストの内容確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	2	Unit1: Hitmaker ① ※①②は語彙/視聴/書き取り等。③は本文内容確認問題含む。以下各回同様。 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の定着を図る。								
	3	Unit1: Hitmaker ② 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の定着を図る。								
	4	Unit1: Hitmaker ③ 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の定着を図る。								
	5	Unit2: Budget Train Gives Rich Rewards ① 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の定着を図る。								
	6	Unit2: Budget Train Gives Rich Rewards ② 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の定着を図る。								
	7	Unit2: Budget Train Gives Rich Rewards ③ 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の定着を図る。								
	8	Unit3: Lifesaver for Type 1 Diabetes Patients ① 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の定着を図る。								
	9	Unit3: Lifesaver for Type 1 Diabetes Patients ② 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の定着を図る。								
	10	Unit3: Lifesaver for Type 1 Diabetes Patients ③ 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の定着を図る。								
	11	Unit4: Think Globally, Graze Locally ① 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の定着を図る。								
	12	Unit4: Think Globally, Graze Locally ② 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の定着を図る。								
	13	Unit4: Think Globally, Graze Locally ③ 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の定着を図る。								
	14	Unit 5: Japanese Family Steps Up to Support Evacuee ① ② 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の定着を図る。								
	15	Unit 5: Japanese Family Steps Up to Support Evacuee ③ 前期授業総括 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 前期学習内容の振り返りと定着を図る。								
教科書・教材	『NHK NEWSLINE SPECIAL EDITION』山崎達郎・Stella M. Yamazaki 編著 KINSEIDO ¥2800+税									
参考書・参考文献等	特になし。									
履修上の注意等	メディア英語は難しいですが、授業内活動に関しては受け身にならず、積極的に取り組むこと。									
実務経験との関連	実務経験の有無	無								

[2146] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
時事英語Ⅱ			演習	杉本久美子	2年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1					期末試験 70 有	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 30 有 その他 計 100 フィードバックの方法	
	○	○	—	○	—	—	—	—		○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		時事問題に関してメディア英語を通して理解を深める。							期末試験は採点后返却し、解答の説明を行う。授業内活動と提出物についてはその都度内容確認と所見を伝える。 アクティブラーニングの有無(内容) 有
	≪汎用的技能≫		時事英語の特性およびICTの活用による情報獲得能力を身につける。							
	≪態度・志向性≫		生涯にわたって英語を学ぶ姿勢と方法を習得する。							
授業概要	様々なメディアを通して発信される世界中のニュースに英語で触れることによって、世界の現状を知る。社会・文化・教育・科学・環境問題など多様な英語に接し、Reading, Listening, Speaking, Writingといった英語運用能力を多角的に培養できるようにする。							授業内での書き取り、英文和訳等		
授業の到達目標	時事英語の特性を理解し、ニュース英語の基礎的知識を習得する。媒体によって異なる英語の特性を把握し、ニュース内容を把握する基礎的能力を身につける。									
単位認定の要件	期末試験(70%)授業内活動(30%)の合計が60点以上で単位認定とする。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	授業概要説明(使用テキスト、授業展開方法、成績評価方法について) 前期学習内容の確認 Unit 6 導入 予習:(30分) 前期学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	2	Unit 6: Advocate for Abduction Issue Remembered ① ※①②語彙/視聴/書取り/内容把握等 ③本文内容確認問題含む。 予習:(30分) 本時の学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	3	Unit 6: Advocate for Abduction Issue Remembered ② ※授業内活動として英文和訳を含む。以下同様。 予習:(30分) 本時の学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	4	Unit 6: Advocate for Abduction Issue Remembered ③ 予習:(30分) 本時の学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	5	Unit 7: Hiroshima Hibakusha Determined to Share Story ① 予習:(30分) 本時の学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	6	Unit 7: Hiroshima Hibakusha Determined to Share Story ② 予習:(30分) 本時の学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	7	Unit 7: Hiroshima Hibakusha Determined to Share Story ③ 予習:(30分) 本時の学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	8	Unit 8: A New View of Hokusai ① 予習:(30分) 本時の学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	9	Unit 8: A New View of Hokusai ② 予習:(30分) 本時の学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	10	Unit 8: A New View of Hokusai ③ 予習:(30分) 本時の学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	11	Unit 9: Space Development Board Game ① 予習:(30分) 本時の学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	12	Unit 9: Space Development Board Game ② 予習:(30分) 本時の学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	13	Unit 9: Space Development Board Game ③ 予習:(30分) 本時の学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	14	Unit 10: In Memory of Monty ① ② 予習:(30分) 本時の学習内容の確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。								
	15	Unit 10: Space Development Board Game ③ 後期授業総括 予習:(30分) 本時の学習内容の確認 復習:(30分) 後期学習内容の振り返りと定着を図る。								
教科書・教材	『NHK NEWSLINE SPECIAL EDITION』山崎達郎・Stella M. Yamazaki 編著 KINSEIDO ¥2800+税									
参考書・参考文献等	特になし。									
履修上の注意等	メディア英語は難しいですが、授業内活動に関しては受け身にならず、積極的に取り組むこと。									
実務経験との関連	実務経験の有無	無								

【2147】 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
ドイツ語 I			演習	齋藤義彦	2年	前期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無				
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士					
1	15	30		1						期末試験	60	有		
学士力の分類 当該科目で育てることができる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート		
	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—		—	—	—
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 異文化の理解		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル								毎回前回授業に対する理解や質問を提出。その内容をピックアップして授業開始時に回答します。			
	≪態度・志向性≫										アクティブラーニングの有無(内容)	有		
授業概要	初級ドイツ語文法の理解を踏まえ、初級ドイツ語会話に相当するコミュニケーション能力の基礎の習得を目的とする。またビデオ教材の併用によって、視覚的効果を利用した聞き取り、発声練習を中心にした。また言語の背景にある欧州、ドイツの歴史を適宜紹介する。									対話型コミュニケーション教員—学生学生—学生				
授業の到達目標	①名詞の格変化 ②規則動詞の人称変化 ③不規則動詞の人称変化 ④自己紹介 ⑤買物の表現 ⑥語法の助動詞を用いた表現、以上を理解し、基礎力をつける。													
単位認定の要件	授業到達目標の理解が60%以上で合格。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容												
	1	Lektion 0「あかざたなはまやらヴァム」、ドイツ語の読み方 予習復習については履修上の注意を参照。以下同じ。												
	2	Lektion 1「こんにちは、ミュンヘン」、人称代名詞と動詞の現在人称変化、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
	3	Lektion 1 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
	4	Lektion 2「クラウディア、町へ行く」、定冠詞・不定冠詞・所有冠詞、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
	5	Lektion 2 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
	6	Lektion 3「住居共同体」、不規則動詞の現在人称変化、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
	7	Lektion 3 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
	8	Lektion 1～Lektion 3までの復習、別冊問題集 予習:(分) 復習:(分)												
	9	Lektion 4「ザルツブルクへの旅」、指示代名詞、分離動詞の現在人称変化、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
	10	Lektion 4 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
	11	Lektion 5「ミヒャエルの一日」、前置詞の格支配、人称代名詞、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
	12	Lektion 5 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
	13	Lektion 6「オリンピアパークにて」、語法の助動詞、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
	14	Lektion 6 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
	15	Lektion4～Lektion 6までの復習、別冊問題集 予習:(分) 復習:(分)												
教科書・教材	教科書:関ロー郎著『ハロー・ミュンヘン・ノイ』(白水社)													
参考書・参考文献等	特になし													
履修上の注意等	予習・復習時には必ず音読すること。授業中には、常に声を出すことが要求される。予習:(30分)授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。復習:(15分)授業内容について振り返りを行う。													
実務経験との関連	実務経験の有無	無												

【2148】 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
ドイツ語Ⅱ			演習	齋藤義彦	2年	後期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無				
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士					
1	15	30		1						期末試験	60	有		
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート		
	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—		—	—	—
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		異文化の理解								毎回前回授業に対する理解や質問を提出。その内容をピックアップして授業開始時に回答します。			
	≪汎用的技能≫		コミュニケーションスキル								アクティブラーニングの有無(内容) 有			
授業概要	前期で学習したドイツ語に加えて、後期も初級ドイツ語の文法の理解と初級ドイツ語会話に相当するコミュニケーション能力の基礎の習得を目的とする。またビデオ教材の併用によって、視聴覚的効果を利用した聞き取り、発声練習を中心にした。また言語の背景にある欧州、ドイツの歴史を適宜紹介する。									対話型コミュニケーション教員—学生 学生—学生				
授業の到達目標	①形容詞の格変化 ②基本形 ③動詞の過去人称変化 ④現在完了形 ⑤日常の計画や出来事などの説明 ⑥週末の過ごし方の表現、以上を理解し、基礎力をつける。													
単位認定の要件	授業到達目標の理解が60%以上で合格。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容												
	1	Lektion 7 “買物”、形容詞の格変化、形容詞の比較変化、音読練習 予習復習については履修上の注意を参照。以下同し。												
	2	Lektion 7 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
	3	Lektion 8 “週末には”、動詞の三基本形、過去と現在完了、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
	4	Lektion 8 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
	5	Lektion 7～Lektion 8までの復習、別冊問題集 予習:(分) 復習:(分)												
	6	Lektion 9 “ベルリンについて”、文語の過去、受動文、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
	7	Lektion 9 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
	8	Lektion 10 “ドイツ博物館”、再帰代名詞と再帰動詞、zu不定詞句、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
	9	Lektion 10 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
	10	Lektion 9～Lektion 10までの復習、別冊問題集 予習:(分) 復習:(分)												
	11	Lektion 11 “ルートヴィヒ2世”、関係代名詞、不定関係代名詞、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
	12	Lektion 11 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
	13	Lektion 12 “さようなら!”、接続法第1式、接続法第2式、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
	14	Lektion 12 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
	15	Lektion 10～Lektion 12までの復習、別冊問題集 予習:(分) 復習:(分)												
教科書・教材	教科書:関ロー郎著『ハロー・ミュンヘン・ノイ』(白水社)													
参考書・参考文献等	特になし													
履修上の注意等	予習・復習時には必ず音読すること。授業中には、常に声を出すことが要求される。レポートの様式は、縦A4版横書きでお願いします。予習:(30分)授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。復習:(15分)授業内容について振り返りを行う。													
実務経験との関連	実務経験の有無	無												

[2149] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
フランス語 I			演習	工藤貴子	2年	前期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
1	15	30		1					期末試験 80 有			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート 授業内小テスト 10 有 授業内提出物 授業内活動 10 有 その他		
	○	○	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		フランス語のしくみと文化の理解							期末試験答案是模範解答と共に返却、小テストや提出課題は次回授業で返却し、解答の解説を行う アクティブラーニングの有無(内容) 有		
	≪汎用的技能≫		フランス語を介した情報交換と論理的思考									
	≪態度・志向性≫		ペア・グループワークを通じた他者や多文化への関心									
授業概要	コミュニケーションに役立つ表現の習得を学習の中心に据え、それを正しく運用するための基礎的な文法を同時に解説します。また、語学学習は異文化や他者へと開く意でもあります。フランスの情報や文化を適宜紹介することで、自分自身や自国の文化を見直したり、今まで持っていたフランスのイメージを更新することも目指します。									グループワーク、発見学習、グループディスカッション		
授業の到達目標	「自己紹介をする」「他者にプロフィールを聞く」「家族構成を説明する」などのテーマを通して、フランス語の基礎的文法と会話表現が身につくようになります。また、映像や写真、データを通して、フランス事情、とりわけ子供の食育や少子化克服の背景、子育てに関する教育概念全般についても理解を深めます。											
単位認定の要件	授業内での活動評価点、適宜行う小テストの平均点、期末試験の合計が60点以上であること。											
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										
	1	名前を言う、日常よく使われる短い表現を学ぶ／アルファベ予習:(10分)テキスト14ページ「アルファベ」をテキスト音声サイトで聴く復習:(35分) アルファベを言うようになる										
	2	他者の名前とスペルを言う／アルファベの定着予習:(15分)テキスト17ページ「exercices 1,2」を使い、アルファベの定着復習:(30分) アルファベの音読と名前を聞く・言う表現定着										
	3	国籍を言う／国籍の女性形の作り方予習:(15分)第1課vocabulary 国籍の単語をテキスト音声サイトで聴く復習:(30分) 国籍の女性形作り方定着										
	4	主語人称代名詞、動詞 être 活用練習と応用表現予習:(15分)第1課ディアローグ暗唱復習:(30分) 活用問題演習										
	5	職業を言う／動詞 être 復習、職業の女性形の作り方予習:(30分)第2課ディアローグ暗唱／動詞 être 活用小テスト準備復習:(15分) 職業の女性形作り方定着										
	6	話せる言語を言う／第一群規則動詞活用練習予習:(15分)第3課vocabulary 言語名の単語をテキスト音声サイトで聴く復習:(30分) 第一群規則動詞活用表の記入										
	7	住んでいるところを言う／第一群規則動詞(発音中心に練習)予習:(15分)第3課ディアローグ暗唱復習:(30分) 第一群規則動詞音読と活用問題演習										
	8	家族構成を言う／動詞 avoir 活用予習:(30分)第4課ディアローグ内容理解、第一群規則動詞小テスト準備復習:(15分) 兄弟構成説明の作文										
	9	家族構成を言う／不定冠詞と名詞の性予習:(15分)第4課ディアローグ音読復習:(30分) 不定冠詞問題演習										
	10	年齢を言う／動詞 avoir 復習予習:(20分)数字1-39復習:(25分) avoir 活用練習問題										
	11	否定文の作り方予習:(15分)avoir 小テスト準備復習:(30分) 否定文問題演習										
	12	家族を紹介する／所有形容詞「私の」予習:(15分)第4課vocabulary 家族の単語をテキスト音声サイトで聴く復習:(30分) 自分の家族構成を紹介する練習										
	13	家族を紹介する／所有形容詞「君の」「彼の」「彼女の」予習:(15分)第4課vocabulary 家族の単語をテキスト音声サイトで聴く復習:(30分) 友達の家を紹介する練習										
	14	家族を紹介する／所有形容詞(例外的用法)予習:(15分)第12,13回の内容復習復習:(30分) 所有形容詞問題演習										
	15	フランス語で自己紹介する予習:(20分)第1~4課ディアローグ音読復習:(25分) 自己紹介文暗唱										
教科書・教材	安積みづのほか著、Ça va ? À haute voix !『サヴァ? 大きな声で』(三修社)											
参考書・参考文献等	中島さおり『哲学する子どもたち』(河出書房新社)、中島さおり『なぜフランスでは子どもが増えるのか』(講談社現代新書)、高崎順子『フランスはどう少子化を克服したか』(新潮新書)、安發明子『一人ひとりに届ける福祉を支える フランスの子どもの育ちと家族』(かもがわ出版) 仏語関連:清岡智比古『ハートにピッとフランス語』(NHK出版)、『フランス語をひとつひとつわかりやすく』(学研教育出版)											
履修上の注意等	①授業理解の補足になるよう、プリントも適宜配布しますのでその整理を怠らないようにしましょう。②教室に「いる」だけでは参加したことになりません。皆さんとの対話を重視しながら授業を進めますので、疑問や意見があれば遠慮なく問題提起することを歓迎します。											
実務経験との関連	実務経験の有無	無										

【2150】 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
フランス語Ⅱ			演習	工藤貴子	2年	後期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
1	15	30		1					期末試験	80	有	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート		
	○	○	○	○	—	○	○	○		—	○	○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ フランス語のしくみと文化の理解		≪汎用的技能≫ フランス語を介した情報交換と論理的思考			≪態度・志向性≫ ペア・グループワークを通して他者や多文化への関心			期末試験答案是模範解答と共に返却、小テストや提出課題は次回授業で返却し、解答の解説を行う			
	≪知識・理解≫ フランス語のしくみと文化の理解		≪汎用的技能≫ フランス語を介した情報交換と論理的思考			≪態度・志向性≫ ペア・グループワークを通して他者や多文化への関心			アクティブラーニングの有無(内容)	有		
	≪知識・理解≫ フランス語のしくみと文化の理解		≪汎用的技能≫ フランス語を介した情報交換と論理的思考			≪態度・志向性≫ ペア・グループワークを通して他者や多文化への関心			アクティブラーニングの有無(内容)	有		
授業概要	コミュニケーションに役立つ表現を学習の中心に据え、それを正しく運用するための基礎的な文法が身につくように説明します。また、語学学習は異文化や他者へと開く意でもあります。フランスの情報や文化紹介が豊富なテキストを用いて、自分自身や自国の文化を見直したり、今まで持っていたフランスのイメージを更新することも目指します。									グループワーク、発見学習、グループディスカッション		
授業の到達目標	「道順を説明する」「時刻を尋ねる」「行きたいところを言う」など日常のありふれた場面で遭遇しそうな身近なテーマを通して、フランス語の基礎的文法と会話表現が身につくようになります。また、映像や写真、データを通して、フランス事情、とりわけ子供の食育や少子化克服の背景、子育てに関する教育概念全般についても理解が深まります。											
単位認定の要件	授業内での活動評価点、適宜行う小テスト、期末試験の合計が60点以上であること。											
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										
	1	前期内容の復習、他者の外見や性格を知る／形容詞の性の一致、付加形容詞の位置(原則) 予習:(30分)前期内容(とくに動詞活用)の復習 復習:(15分)形容詞の女性形の作り方の定着										
	2	自分の外見・性格を説明する／形容詞の性数の一致、付加形容詞の位置(例外) 予習:(25分)自分の外見、性格の紹介文の下書き(日本語で) 復習:(20分)形容詞の問題演習										
	3	付加形容詞まとめ、時間の言い方 予習:(15分)数字1-59 復習:(30分)時間の言い方音読(テキスト37ページ)										
	4	時間の言い方／数字を使わない「～分」の言い方 予習:(15分)テキスト37ページvocabularyを聴き、発音練習 復習:(30分)テキスト38ページexercices										
	5	疑問形容詞、好きなものと言う 予習:(15分)テキスト39ページvocabularyを聴き、発音練習 復習:(30分)テキスト39ページdialogue音読										
	6	好きなもの言う、定冠詞 予習:(15分)テキスト39ページdialogue音読 復習:(30分)練習問題を再度解き、不定冠詞と定冠詞の違いを確認する										
	7	部分冠詞、動詞« vouloir »活用 予習:(10分)第3課ディアローグ内容理解 復習:(35分)部分冠詞の使い方の理解、« vouloir »活用練習										
	8	部分冠詞と不定冠詞の違い、動詞« prendre »活用 予習:(20分)« vouloir »活用小テスト準備 復習:(25分)不定冠詞と部分冠詞問題演習										
	9	料理のレシピを読む／命令形 予習:(20分)« prendre »活用小テスト準備 復習:(25分)命令形問題演習										
	10	行きたいところを言う／動詞 aller 活用、定冠詞(復習)、前置詞 à と定冠詞の縮約(口頭練習) 予習:(15分)第9課ディアローグ内容理解 復習:(30分)動詞aller 活用練習										
	11	行きたいところを言う／前置詞 à と定冠詞の縮約(問題演習)、動詞 venir 活用 予習:(20分)第6課ディアローグ音読、aller 活用小テスト準備 復習:(25分)前置詞 à と定冠詞の縮約練習問題を再度解く										
	12	道を尋ねる、教える 予習:(20分)テキスト51ページdialogue内容理解 復習:(25分)道の教え方の表現定着										
	13	道を尋ねる、教える 予習:(20分)テキスト51ページdialogue音読と暗唱 復習:(25分)テキスト51ページexercices再度解く										
	14	位置を説明する 予習:(15分)テキスト61ページvocabulary聞く 復習:(30分)位置を説明する前置詞の定着										
	15	天候を尋ねる、言う 予習:(15分)テキスト67ページvocabulary聞く 復習:(30分)天候の言い方定着										
教科書・教材	安積みづのほか著、Ça va ? À haute voix !『サヴァ?大きな声で』(三修社)											
参考書・参考文献等	中島さおり『哲学する子どもたち』(河出書房新社)、中島さおり『なぜフランスでは子どもが増えるのか』(講談社現代新書)、高崎順子『フランスはどう少子化を克服したか』(新潮新書)、安發明子『一人ひとりに届ける福祉を支える フランスの子どもの育ちと家族』(かもがわ出版) 仏語関連:清岡智比古『ハートにピピッとフランス語』(NHK出版)、『フランス語をひとつひとつわかりやすく』(学研教育出版)											
履修上の注意等	①授業理解の補足になるよう、プリントも適宜配布しますのでその整理を怠らないようにしましょう。②教室に「いる」だけでは参加したことになりません。皆さんとの対話を重視しながら授業を進めますので、疑問や意見があれば遠慮なく問題提起してくれることを歓迎します。											
実務経験との関連	実務経験の有無	無										

【2204】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科						
教育課程論			講義	森本洋介	2年	前期	こども発達学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無				
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士					
2	15	30	2			○	○		期末試験				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に自ら設定し、その課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	60	有	
										授業内小テスト			
										授業内提出物			
										授業内活動	40	有	
								その他					
								計			100		
								フィードバックの方法					
											期末レポートは採点后に返却する。授業内活動では授業の最後の5分をフィードバックを行う時間にする。		
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		学習指導要領 資質・能力、見方・考え方 協働力						アクティブラーニングの有無(内容)	有			
授業概要	教育課程の本質と目的、理念に加えて、近現代の教育内容・教育課程の歩み、特に戦後日本のナショナルカリキュラムである「学習指導要領」の変遷を概観し、理解を深めていくことを通して、日々の教育実践の中で教育課程を如何に編成し、如何に行い、如何に評価、改善していくべきかを考察していく。また、教育課程の新たな内容や、主体的な学び方について実践的に取り扱う。									グループワーク、探究学習			
授業の到達目標	近現代の教育内容・教育課程(カリキュラム)の歩み(主に「学習指導要領」の変遷を中心に)とその意義を概観し、それをもとに現在の教育課程編成の原理と今後のあり方について理解を深める。また、近年重要視されている教科横断的な教育課程について、体験的に学習し、理解を深める。												
単位認定の要件	到達目標の理解が60%以上であること。												
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容											
	1	オリエンテーション 予習:(90分) 復習:(180分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。自分で興味のあることについて調べる。											
	2	カリキュラムとは何か 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。											
	3	学習指導要領の変遷(戦後～教育の現代化) 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。											
	4	学習指導要領の変遷(ゆとり教育～生きる力) 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。											
	5	新学習指導要領の内容 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。											
	6	今日の学力観(PISA型学力)と教育課程 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。											
	7	「学力低下」論 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。											
	8	教育課程の編成原理・条件 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。											
	9	教育課程経営とカリキュラム・マネジメント 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。											
	10	特別活動、総合的な学習の時間、道徳教育 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。											
	11	諸外国の教育課程①(英国、米国、中国、韓国) 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。											
	12	諸外国の教育課程②(フィンランド、カナダ) 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。											
	13	教科横断的な教育内容の実践と社会に開かれた教育課程①(メディア・リテラシー) 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。											
	14	教科横断的な教育内容の実践と社会に開かれた教育課程②(環境教育・SDGs) 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。											
	15	教科横断的な教育内容の実践と社会に開かれた教育課程③(国際理解教育) 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。											
教科書・教材	特になし												
参考書・参考文献等	適宜指示する。												
履修上の注意等	グループ活動が基本となるため、遅刻・欠席は厳禁とする。												
実務経験との関連	実務経験の有無	無											

【2209】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
声乐 I			演習	諏訪才子	2年	前期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無		
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士			
1	15	30	1						□		
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル			≪態度・志向性≫ 自己管理力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
当該科目の キーワード	≪知識・理解≫		声乐発声法の基礎、楽曲解釈、音楽理論、演奏法の基礎								
	≪汎用的技能≫		歌唱表現、自己評価、独唱・重唱・合唱（課題発見・解決）								
	≪態度・志向性≫		独唱・斉唱・合唱（自律性・協働、多様な音楽文化に対する関心・理解、表現の工夫・創造）								
授業概要	声乐教則本コンコーネ50番による基礎練習と日本歌曲・イタリア歌曲の歌唱により、発声法、楽曲解釈、演奏表現・マナー等の基本について理解し、体得することを目指す。また、作品研究や楽曲分析を通して、楽曲について理解するとともに、音楽理論を実践的に活用する力を養う。受講生の伴奏による独唱および合唱発表（受講生の指揮・伴奏を含む）を行い、学校教育の歌唱活動全般における実践力と指導力の基礎の定着を図る。									グループディスカッション、グループワーク、グループ発表	
授業の 到達目標	歌唱は、音楽表現および音楽活動全般の基礎となる。 ①歌唱の基礎技術である声乐発声法の基本について理解し、体得できる。 ②作品研究や楽曲分析を通して、楽曲について理解するとともに、音楽理論を実践的に活用できる。 ③日本歌曲や外国歌曲の独唱および合唱を通して、学校教育の歌唱活動全般における歌唱技術・表現力、指導力の基礎を身につける。										
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上となること。										
授業計画 (予習、復習の内容・ 時間含む)	回	内 容									
	1	発声(ウォーミングアップ・姿勢) コンコーネNo.1～5 日本歌曲唱法 予習:(25分)発声のためのウォーミングアップ、発声練習を行う。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。									
	2	発声(呼吸法・プレス) コンコーネNo.1～5 花の街、早春賦他 予習:(25分)授業で予定している歌唱曲の譜読み、歌唱練習を行う。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。									
	3	発声(共唱・口の開け方) コンコーネNo.1～5 この道、夏の思い出 予習:(25分)授業で予定している歌唱曲の譜読み、歌唱練習を行う。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。									
	4	発声(発音①母音) イタリア歌曲唱法 予習:(25分)イタリア語の発音について調べる。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。									
	5	発声(発音②子音) Caro mio ben他 予習:(25分)歌唱曲の譜読み、歌詞の発音に留意して練習する。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。									
	6	発声(音楽表現①フレージング) Caro mio ben他 予習:(25分)歌唱曲のフレージングなど音楽表現を工夫して練習する。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。									
	7	発声(音楽表現②歌詞の理解) 既習曲 まとめ 予習:(25分)歌唱曲の歌詞の内容を理解して、音楽表現を工夫して練習する。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。									
	8	芸術鑑賞 歌劇 予習:(25分)歌劇について、下調べする。 復習:(0分)									
	9	合唱1 パート練習 予習:(30分)合唱曲のパート練習を中心に行う。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。									
	10	合唱2 ハーモニー作り 予習:(30分)合唱曲のハーモニー作りを中心に行う。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。									
	11	合唱3 音楽表現・まとめ 予習:(30分)合唱曲の音楽表現を工夫して練習する。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。									
	12	任意の歌曲 1 読譜・歌詞の発音と歌唱 予習:(25分)歌唱曲の譜読み、歌詞の発音に留意して練習する。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。									
	13	任意の歌曲 2 歌唱表現 予習:(25分)任意の歌曲の音楽表現を工夫して練習する。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。									
	14	任意の歌曲 3 独唱発表 予習:(25分)歌唱曲の暗譜、伴奏合わせをし、総合的に仕上げる。 復習:(20分)演奏発表を自己評価し、今後の課題と練習方法・計画についてまとめる。									
	15	合唱発表 予習:(30分)合唱曲を暗譜し、総合的に仕上げる。 復習:(20分)演奏発表を振り返り、今後の課題と練習方法・計画についてまとめる。									
教科書・教材	声乐教則本「コンコーネ50番」中声用 畑中良輔編(全音楽譜出版社)「独唱名曲100選」(音楽之友社)										
参考書・ 参考文献等	適宜、指示する。										
履修上の 注意等	コンサート・CD等で音楽鑑賞をすること。										
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	中学校・高等学校の音楽の授業における歌唱活動(合唱を含む)、式歌、及び合唱部等の指導経験を活かして、学校教育の歌唱活動全般における実践力、指導力の基礎の定着を図る。								

[2210] 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
声乐Ⅱ			演習	諏訪才子	2年	後期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
1	15	30	1						□			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシ 論理的 思考力 問題 解決力			≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リー ダー シップ 倫理 観 社会的 責任 生涯 学習力			《獲得した能力 を総合的に 利用し、自ら 設定し、適 した課題へ適 用し、その 課題を解決 する能力》	期末試験 期末レポート 授業内小テスト 70 有 授業内提出物 10 有 授業内活動 20 有 その他		
	○ ○ ○		—	—	—	○	○	○		—	—	○
当該科目の キーワード	≪知識・理解≫		声乐発声法、楽曲解釈、音楽理論、演奏法							授業内発表・独唱発表試験の自己 評価、講評及び振り返りレッスン、 合唱発表の講評及び振り返りを行 う。		
	≪汎用的技能≫		歌唱表現、自己評価、独唱・重唱・合唱（課題発見・解決）									
	≪態度・志向性≫		独唱・斉唱・合唱（自律性・協働、多様な音楽文化に対する関心・理解、表現の工夫・創造）									
授業概要	声乐教則本コンコーネ50番による基礎練習と日本歌曲・イタリア歌曲・ドイツ歌曲の歌唱により、発声法、楽曲解釈、演奏表現・マナー等 の理論と実践について理解を深め、定着を目指す。また、作品研究や楽曲分析を通して、楽曲への理解を深めるとともに、音楽理論を 音楽表現へとつなげる実践的応用力を養う。受講生の伴奏による独唱および合唱発表（受講生の指揮・伴奏を含む）を行い、学校教育 の歌唱活動全般における実践力と指導力の向上を図る。									グループディスカッション、グループ ワーク、グループ発表		
授業の 到達目標	歌唱は、音楽表現および音楽活動全般の基礎となる。 ①歌唱の基礎技術である声乐発声法の理論について説明し、実践することができる。 ②作品研究や楽曲分析を通して、楽曲への理解を深めるとともに、音楽理論を音楽表現へとつなげることができる。 ③日本歌曲や外国歌曲の独唱および合唱を通して、学校教育の歌唱活動全般における総合的な歌唱技術・表現力、指導力を身につける。											
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上となること。											
授業計画 (予習、復習の 内容・時間含む)	回	内 容										
	1	発声(声種) コンコーネNo.6～10 ドイツ歌曲唱法 予習:(25分)ドイツ語の発音について調べる。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。										
	2	発声(選曲) コンコーネNo.6～10 Ich liebe dich他 予習:(25分)授業で予定している歌唱曲の譜読み、歌唱練習を行う。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。										
	3	発声練習(伴奏法) コンコーネNo.6～10 日本歌曲唱法 浜辺の歌他 予習:(25分)授業で予定している歌唱曲の譜読み、歌唱練習を行う。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。										
	4	発声(伴奏合わせ) 任意のイタリア歌曲 1 読譜 予習:(25分)歌唱曲の譜読みを中心に練習する。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。										
	5	発声(ステージマナー) 任意のイタリア歌曲 2 歌詞の発音 予習:(25分)歌唱曲の譜読み、歌詞の発音に留意して歌唱練習を行う。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。										
	6	発声(声の衛生) 任意のイタリア歌曲 3 歌唱表現 予習:(25分)歌唱曲の音楽表現を工夫して歌唱練習を行う。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。										
	7	発声(声の衛生) 既習曲 まとめ 予習:(25分)歌唱曲の歌詞の内容を理解して、音楽表現を工夫して練習する。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。										
	8	芸術鑑賞 日本の伝統音楽 予習:(25分)日本の音楽について、下調べを行う。 復習:(0分)										
	9	合唱1 パート練習 予習:(30分)合唱曲のパート練習を中心に行う。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。										
	10	合唱2 ハーモニー作り 予習:(30分)合唱曲のハーモニー作りを中心に練習する。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。										
	11	合唱3 音楽表現・まとめ 予習:(30分)合唱曲の音楽表現を工夫して練習する。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。										
	12	任意の歌曲 1 読譜・歌詞の発音と歌唱 予習:(25分)歌唱曲の譜読み、歌詞の発音に留意して練習する。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。										
	13	任意の歌曲 2 歌唱表現 予習:(25分)任意の歌曲の音楽表現を工夫して練習する。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。										
	14	任意の歌曲 3 独唱発表 予習:(25分)歌唱曲の暗譜、伴奏合わせをし、総合的に仕上げる。 復習:(20分)演奏発表を振り返り、今後の課題と練習方法・計画についてまとめる。										
	15	合唱発表 予習:(30分)合唱曲を暗譜し、総合的に仕上げる。 復習:(20分)演奏発表を振り返り、今後の課題と練習方法・計画についてまとめる。										
教科書・教材	声乐教則本「コンコーネ50番」中声用 畑中良輔編(全音楽譜出版社)、「独唱名曲100選」(音楽之友社)											
参考書・ 参考文献等	適宜、指示する。											
履修上の 注意等	コンサート・CD等で音楽鑑賞をすること。											
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	中学校・高等学校の音楽の授業における歌唱活動(合唱を含む)、式歌、及び合唱部等の指導経験を活かして、学校教育の歌唱活動全般における実践力、 指導力の基礎の定着を図る。									

[2234] 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科						
ICTの基礎			演習	友田志郎	2年	前期	こども発達学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士				
1	15	30		1			☆	☆					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末試験 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 その他		
	—	—	—	○	—	○	○	○	—	—		—	○
	計		100										
	フィードバックの方法												
	提出課題についての講評を授業内で行う												
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫										アクティブラーニングの有無(内容)	有	
授業概要	初等教育の場でのICT(情報通信技術)利用という点を主眼に据え、単にアプリケーションソフトの使い方を学ぶのではなく、教材作成・資料作成のための実践的な指導をする。また、プログラミングの基礎と簡単なプログラム作成について解説・指導する。									授業内でコンピュータの操作、プログラムの作成等を行う			
授業の到達目標	①画像編集が自由に行える。 ②音声データの編集が自由に行える ③プログラミングの基礎を理解する												
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。												
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容											
	1	画像データの編集(1):画像編集ソフト。基本的な編集 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
	2	画像データの編集(2):画像の合成 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
	3	画像データの編集(3):様々な領域指定方法を用いた画像合成 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
	4	画像データの編集(4):フォトタッチ 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
	5	画像データの編集(5):GIFアニメーション。画像フォーマット 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
	6	音声データの処理(1):音声の録音と編集 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
	7	音声データの処理(2):音声データの編集。さまざまなエフェクト 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
	8	音声データの処理(3):音楽データの編集 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
	9	Scratchを用いたプログラミング入門(1) 基本的操作 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
	10	Scratchを用いたプログラミング入門(2) アルゴリズム・変数・メッセージ 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
	11	Scratchを用いたプログラミング入門(3) サンプルゲーム作成 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
	12	Scratchを用いたプログラミング入門(4) サンプルゲームを完成させる 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
	13	Scratchを用いたプログラミング入門(5) 線画グラフィック 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
	14	Scratchを用いたプログラミング入門(6) タートルグラフィック 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
	15	Scratchを用いたプログラミング入門(7) リストとソートアルゴリズム 予習:(分) 復習:(45分):授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること											
教科書・教材	特になし												
参考書・参考文献等	特になし												
履修上の注意等	毎回の授業でノートパソコンを持参すること。また、画像・音声・動画などの編集操作の為にマウスが必須である。操作技術修得には毎時間の積み重ねが必要なので、その都度復習することが必要となる。												
実務経験との関連	実務経験の有無	無											

[2235] 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
ICT活用法			演習	友田志郎	2年	後期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無		
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士					
1	15	30		1	☆	☆						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末試験 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 50 有 授業内活動 50 無 その他 計 100 フィードバックの方法	
	—		○	—	○	○	○	—	—	—		○
	当該科目のキーワード		≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ 教材・資料作成能力 プログラミング プレゼンテーション ≪態度・志向性≫									提出課題についての講評を授業内で行う アクティブラーニングの有無(内容) 有
	授業概要		前期開講の「ICTの基礎」に引き続き、初等教育の場でのICT(情報通信技術)利用、及びプログラミング教育への対応という点を主眼に据え、教材作成やプレゼンテーションに必要な技能、基礎的なプログラミングについて指導する。							授業内でコンピュータの操作、プログラムの作成等を行う		
授業の到達目標		①プログラミング技術を用いた教材作成ができる ②プレゼンテーション資料作成ができる ③様々なソフトを利用して、動画資料を作成・編集できる										
単位認定の要件		到達目標①～③の合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容									
		1	Scratchを用いたプログラミング実践(1) 算数教材プログラム作成。スプライトとコスチューム。 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
		2	Scratchを用いたプログラミング実践(2) 算数教材プログラムの作成。基本的な動作の部分 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
		3	Scratchを用いたプログラミング実践(3) 算数教材プログラムの作成。スプライトの動きの作成。 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
		4	Scratchを用いたプログラミング実践(4) 算数教材プログラムを完成させる 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
		5	Scratchを用いたプログラミング実践(5) 拡張機能(音声合成・言語翻訳) 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
		6	Scratchを用いたプログラミング実践(6) 音声合成機能の利用。英語教材の作成 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
		7	Scratchを用いたプログラミング実践(7) 音声合成機能の利用。英語教材を完成させる。 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
		8	Scratchを用いたプログラミング実践(8) 自分で考えてプログラムを作成する 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
		9	PowerPointによるプレゼンテーション(1): 基本的なスライド作成。アニメーション機能 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
		10	PowerPointによるプレゼンテーション(2): 表、グラフ、動画、音声、ハイパーリンク 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
		11	PowerPointによるデジタル絵本作成。動画としての書き出し 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
		12	アニメーション作成ソフトの利用(1) タイムラインとキーフレーム 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
		13	アニメーション作成ソフトの利用(2) パーツを組み合わせたアニメーション 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
		14	アニメーション作成ソフトの利用(3) ボーンやメッシュによる変形。 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
		15	ビデオ動画の編集 予習:(分) 復習:(45分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること									
教科書・教材		特になし										
参考書・参考文献等		特になし										
履修上の注意等		毎回の授業でノートパソコンを持参すること。また、画像・音声・動画などの編集操作の為にマウスが必須である。操作技術修得には毎時間の積み重ねが必要なので、その都度復習することが必要となる。										
実務経験との関連		実務経験の有無	無									

【2301】 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
国語 I			演習	澤村美千代	2年	前期	こども発達学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無										
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士											
1	15	30		1	○				期末試験										
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	40	無								
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト	20	有		
	○	—	○	—	○	○	○	—	○	○	—	—	○	—	○	—	授業内提出物	20	有
																	授業内活動	20	有
																	その他		
																	計	100	
																	フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		論の立て方・根拠						①時間内に教師が答えを発表し、学生に自己採点させる。 ②提出物等の結果は、ICTの活用や口頭により、全体に解説する。										
	《汎用的技能》		相手意識・論理性						アクティブラーニングの有無 (内容)			有							
	《態度・志向性》		協働性						演習、個別・ペア・グループワーク 学習等										
授業概要	この科目は、互いを認め合い、自己と他者の違いを越えて協働的に学ぶためのコミュニケーション・スキルを身に付けることをねらいとする。授業では、原則として学習者は互いに書き手・読み手、話し手・聞き手になって学び合う。また、課題について調べたことを発表したり、わからないことや疑問点を進んで質問したりする。失敗や批判を恐れず、自分の考えを堂々と述べてほしい。																		
授業の 到達目標	①文章作成では、説得力のある「論の立て方」を学び、身に付ける。 ②会話では、学んだ「論の立て方」を使って伝え合うことができる。 ③互いの考えを交換できるように他者との対話の仕方を身に付ける。 ④根拠(理由や事実、データ)をもとに自分の意見を論理的に述べる。																		
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																	
	1	「事実と意見・感想の区別」「問いと答え」「批評の仕方」「三角ロジック」他 物語文① 予習:(20分)「事実と意見・感想」「批評」「ロジック」の意味を調べておくこと 復習:(40分)「事実と意見・感想の区別」「三角ロジック」等の知識を使って、提示課題を解くこと																	
	2	「発表の仕方」「質問の仕方」「レジュメのまとめ方」「箇条書き」他 物語文② 予習:(20分)「質問」「レジュメ」「箇条書き」の意味を調べておくこと 復習:(40分)「質問」「箇条書き」の知識・技能を使って、提示課題を解くこと																	
	3	「文章作成・情報の調整」「会話:感謝を伝える」「漢字:送り仮名の付け方1」他 物語文③ 予習:(20分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確認しておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを適切に整理して、教科書の練習問題等を解くこと																	
	4	「文章作成:段落構成の理解」「会話:延期を依頼する」「漢字:送り仮名の付け方2」他 説明文① 予習:(20分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確認しておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを適切に整理して、教科書の練習問題等を解くこと																	
	5	「文章作成:要約する」「会話:書類を提出する」「漢字:敬語1 基本の形」他 説明文② 予習:(20分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確認しておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを適切に整理して、教科書の練習問題等を解くこと																	
	6	「文章作成:文章構造の理解」「会話:手順を質問する」「漢字:敬語2 特別な形」他 説明文③ 予習:(20分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確認しておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを適切に整理して、教科書の練習問題等を解くこと																	
	7	「文章作成:プランニング1」「会話:会議で司会する」「漢字:敬語3 ウチとソト」他 詩教材① 予習:(20分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確認しておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを適切に整理して、教科書の練習問題等を解くこと																	
	8	「文章作成:プランニング2」「会話:遅刻を連絡する」「漢字:敬語4 間違いやすい敬語」他 詩教材② 予習:(20分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確認しておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを適切に整理して、教科書の練習問題等を解くこと																	
	9	「文章作成:異なる主張から検討」「会話:会議で意見を述べる」「漢字:改まった表現」他 書写① 予習:(20分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確認しておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを適切に整理して、教科書の練習問題等を解くこと																	
	10	「文章作成:理由の妥当性」「会話:進捗状況を報告する」「漢字:熟語の構成」他 書写② 授業内小テスト① 予習:(20分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確認しておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを適切に整理して、教科書の練習問題等を解くこと																	
	11	「文章作成:証拠となる資料」「会話:会議を結論に導く」「漢字:漢字の構成」他 書写③ 授業内小テスト② 予習:(20分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確認しておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを適切に整理して、教科書の練習問題等を解くこと																	
	12	「文章作成:論理的つながりを検討」「会話:企画を相談する」「漢字:四字熟語1」他 書写④ 授業内小テスト③ 予習:(20分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確認しておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを適切に整理して、教科書の練習問題等を解くこと																	
	13	「文章作成:原稿の作成」「会話:伝言を述べる」「漢字:四字熟語2」他 音読のバリエーション① 授業内小テスト④ 予習:(20分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確認しておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを適切に整理して、教科書の練習問題等を解くこと																	
	14	「文章作成:資料の作成」「会話:自己PRをする」「漢字:対義語・誤字訂正」他 音読のバリエーション② 授業内小テスト⑤ 予習:(20分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確認しておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを適切に整理して、教科書の練習問題等を解くこと																	
	15	「文章作成:発表する」「会話:志望動機を述べる」「漢字:これまでの復習」他 授業内小テストのまとめ⑥ 予習:(20分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確認しておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを適切に整理して、教科書の練習問題等を解くこと(過去問も振り返ってみる)																	
教科書・教材	木下直子・木山三佳・徳田恵『学生のコミュニケーション・スキルの学び』(実教出版) レジュメ																		
参考書・ 参考文献等	吉原恵子・間瀬泰尚・富江英俊・小針誠『スタディスキルズ・トレーニング』(実教出版)田中共子編『よくわかる学びの技法第2版』(ミネルヴァ書房) 中澤務・森貴史・本村康哲編『知のナビゲーター』(くろしお出版)中村萬里・川崎聡・津野瀬果絵・矢木達之・占部匡美・蔵田純子『実践日本語ワークブック』(双文社出版)藤田哲也編著『大学基礎講座改訂版』(北大路書房)																		
履修上の 注意等	教科書の該当部分等、予習して授業に臨む。																		
実務経験との 関連	実務経験の有無	有	小学校教諭として、小学校での授業、教育委員会の研修会や校内研修会の講師、教育書籍の執筆等の実務経験をもとに、国語力及び国語学力の向上に資するため、コミュニケーションの知識、技能を理解させ、具体的、実践的に学んでもらう。																

【2302】 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
国語Ⅱ			演習	澤村美千代	2年	後期	こども発達学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無									
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士										
1	15	30		1	○				期末試験									
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	40	無							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	30	有	
	○	○	—	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	○	—	授業内提出物	30	有
																授業内活動		
																その他		
																計	100	
																フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		日本語の規則性・変化						①時間内に教師が答えを発表し、 学生に自己採点させる。 ②提出物等の結果は、ICTの活用 や口頭により、全体に解説する。									
	《汎用的技能》		相手意識・論理性						アクティブラーニングの有無 (内容)			有						
	《態度・志向性》		能動性															
授業概要	この科目には2つのねらいがある。一つは日本語の基礎知識や言葉の現象についてザッと振り返り、「言葉そのもの」「言葉の使い方」に見られる規則性や変化を知ることである。もう一つはそれらをもとにさまざまな文章表現(言語文化)を調べたり、考えたり、話し合ったりすることである。自分自身の日本語に対する意識と教養を高め、豊かな言語生活を創造し続ける人をめざしてほしい。									演習、個別・ペア・グループワーク 学習等								
授業の 到達目標	①日本語の基礎知識や日常の言語生活をもとに、日本語の規則性や変化を理解する。 ②文章表現について調べたり、考えたり、話し合いながら自分なりの解釈をもつ。 ③自分の主張が相手にしっかりと伝わるように発表や質問の仕方を工夫する。 ④物事の善悪・是非・疑問点などについて、評価したり述べていく。																	
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。																	
授業計画 (予習、復習の内容・ 時間含む)	回	内 容																
	1	【日本語の基礎1】音韻「音節・単音」「アクセント・抑揚」「言語変化(連濁・音の脱落、添加…)」五十音図「音の説明」他 予習:(20分)「音節」「アクセント」「五十音図」等について、事前に調べておくこと 復習:(40分)授業内容を箇条書きで整理し、自分の気付きや考えをまとめておくこと																
	2	【日本語の基礎2】文字「漢字・六書・音訓」「万葉仮名・平仮名・片仮名」「ローマ字」「仮名遣い」他 予習:(20分)「六書」「音訓」「万葉仮名」「ローマ字」等について、資料等で事前に調べておくこと 復習:(40分)授業内容を箇条書きで整理し、自分の気付きや考えをまとめておくこと									授業内小テスト①							
	3	【日本語の基礎3】語彙「語彙と語句」「理解語彙・使用語彙」「対義語」「国語辞典」「漢和辞典」他 予習:(20分)「語彙」「語句」について、資料等で事前に調べておくこと 復習:(40分)授業内容を箇条書きで整理し、自分の気付きや考えをまとめておくこと									授業内小テスト②							
	4	【日本語の基礎4】文法「文・文節」「活用」「語幹・語尾」「助詞・助動詞」他 予習:(20分)「文・文節」「活用」「語幹・語尾」について、資料等で事前に調べておくこと 復習:(40分)授業内容を箇条書きで整理し、自分の気付きや考えをまとめておくこと									授業内小テスト③							
	5	【日本語の基礎5】文章「構成」「論理展開」「文脈」「語順」「文末表現」「表現の工夫」「解釈」他 予習:(20分)「構成」「論理」「文脈」「解釈」について、資料等で事前に調べておくこと 復習:(40分)授業内容を箇条書きで整理し、自分の気付きや考えをまとめておくこと									授業内小テスト④							
	6	【テキスト読解1】漢詩(偶成・春暁・春夜・静夜思・絶句・桃夭・鹿柴・春望他) 授業内小テスト⑤ 予習:(20分)事前に渡された資料(漢詩)を読んでおくこと 復習:(40分)授業内容を箇条書きで整理し、自分の気付きや考えをまとめておくこと																
	7	【テキスト読解2】ことわざ・格言・名言・故事成語(大学・易経・論語・韓非子・孫子・史記他)、古文随筆(名文) 授業内小テスト⑥ 予習:(20分)事前に渡された資料(ことわざ等)を読んでおくこと 復習:(40分)授業内容を箇条書きで整理し、自分の気付きや考えをまとめておくこと																
	8	【テキスト読解3】近代詩(島崎藤村・北原白秋・室生犀星・高村光太郎・宮澤賢治他) 予習:(20分)事前に渡された資料(近代詩)を読んでおくこと 復習:(40分)授業内容を箇条書きで整理し、自分の気付きや考えをまとめておくこと																
	9	【テキスト読解4】短歌・俳句(晶子・子規・牧水・啄木・茂吉・虚子・鬼城・山頭火他) 予習:(20分)事前に渡された資料(俳句・短歌)を読んでおくこと 復習:(40分)授業内容を箇条書きで整理し、自分の気付きや考えをまとめておくこと																
	10	【テキスト読解5】近代文学② 夏目漱石「夢十夜」「第一夜」「第三夜」「第六夜」他 予習:(20分)事前に渡された資料(夢十夜)を読んでおくこと 復習:(40分)授業内容を箇条書きで整理し、自分の気付きや考えをまとめておくこと																
	11	【テキスト読解6】近代文学③ 芥川龍之介「羅生門」 予習:(20分)事前に渡された資料(羅生門)を読んでおくこと 復習:(40分)授業内容を箇条書きで整理し、自分の気付きや考えをまとめておくこと																
	12	【国語科指導略案作成①】:PC及び学習指導要領(国語科)持参のこと。物語文の基本単元構成																
	13	【国語科指導略案作成②】:PC及び学習指導要領(国語科)持参のこと。物語文の基本単元構成(一次第1時)																
	14	【国語科指導略案作成③】:PC及び学習指導要領(国語科)持参のこと。物語文の基本単元構成(一次第1時) グループごとに機軸授業実施。ディスカッションし省察を行う。																
15	【国語科指導略案作成④】:PC及び学習指導要領(国語科)持参のこと。物語文の基本単元構成(一次第2時) 個人で第2時の指導略案作成。提出し期末レポートとする。																	
教科書・教材	特になし レジュメ・資料																	
参考書・ 参考文献等	出口汪『ビジネスマンのための国語カトレーニング』(日本経済新聞社出版)飯間浩明『辞書を編む』(光文社)国語学会編『国語学大辞典』(東京堂出版)山田敏弘『日本語音声・ 音言語改訂版』(くろしお出版)岩淵匡・桜井光昭・武部良明・森田良行編『日本文法用語辞典』(三省堂) 榊原邦彦『国語表現事典』(和泉書院)石黒圭『文章の裏ワザ』(河出書房新社)																	
履修上の 注意等	事前に資料を読んだり、必要事項を調べたりして授業に臨む。																	
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	小学校教諭として、小学校での授業、教育委員会の研修会や校内研修会の講師、教育書籍の執筆等の実務経験をもとに、 国語力及び国語力の向上に資するため、コミュニケーションの知識、技能を理解させ、具体的、実践的に学んでもらう。															

【2303】 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科						
社会			演習	木村文直	2年	前期	こども発達学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無				
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士					
1	15	30		1		○							
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》		
	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—		—	—
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		小学校社会科学習指導要領、地域教材								毎回提出された感想文を踏まえて、翌週に助言・解説を行う。		
	≪汎用的技能≫		実践事例を素材とした演習										
	≪態度・志向性≫		授業づくりの基礎・基本									アクティブラーニングの有無(内容)	有
授業概要	この講義では、小学校社会科の学習指導要領を理解するとともに、実際の各学年の実践事例を通して、小学校社会科の授業づくりの基礎・基本を身に付けることを目的とします。									講義中に教員が問いかけを行う。授業内に口頭で答えてもらう。			
授業の到達目標	①小学校社会科の学習内容、学習方法、指導方法を理解すること。 ②小学校社会科の授業づくりに求められる基礎・基本を身に付けること。												
単位認定の要件	到達目標①～②の合計が60点以上であること。												
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容											
	1	小学校社会科学習指導要領の理解～目標・趣旨・要点～ 予習:(30分) 小学校社会科学習指導要領をよく読んでおく。 復習:(60分) 小学校社会科学習指導要領をよく読み、目標・趣旨・要点を確認しておく。											
	2	小学校第3学年実践事例「りんごジュース工場のみみつ」①～教材と学習計画～ 予習:(30分) 小学校社会科学習指導要領をよく読み、目標・趣旨・要点を確認し、理解しておく。 復習:(60分) 配付した学習指導案を通して、教材と学習計画を読み返し、復習する。											
	3	小学校第3学年実践事例「りんごジュース工場のみみつ」②～本時の展開～ 予習:(30分) 本時の展開を確認しておく。 復習:(60分) 本時の展開を読み返し、復習する。											
	4	小学校第3学年実践事例「りんごジュース工場のみみつ」③～振り返り・評価～ 予習:(30分) 振り返り・評価を確認しておく。 復習:(60分) 振り返り・評価を再度考え、まとめる。											
	5	小学校第4学年実践事例「土淵川放水路」①～教材と学習計画～ 予習:(30分) 小学校社会科学習指導要領をよく読み、目標・趣旨・要点を確認し、理解しておく。 復習:(60分) 配付した学習指導案を通して、教材と学習計画を読み返し、復習する。											
	6	小学校第4学年実践事例「土淵川放水路」②～本時の展開～ 予習:(30分) 本時の展開を確認しておく。 復習:(60分) 本時の展開を読み返し、復習する。											
	7	小学校第4学年実践事例「土淵川放水路」③～振り返り・評価～ 予習:(30分) 振り返り・評価を確認しておく。 復習:(60分) 振り返り・評価を再度考え、まとめる。											
	8	小学校第5学年実践事例「谷風19号放送局」①～教材と学習計画～ 予習:(30分) 小学校社会科学習指導要領をよく読み、目標・趣旨・要点を確認し、理解しておく。 復習:(60分) 配付した学習指導案を通して、教材と学習計画を読み返し、復習する。											
	9	小学校第5学年実践事例「谷風19号放送局」②～本時の展開～ 予習:(30分) 本時の展開を確認しておく。 復習:(60分) 本時の展開を読み返し、復習する。											
	10	小学校第5学年実践事例「谷風19号放送局」③～振り返り・評価～ 予習:(30分) 振り返り・評価を確認しておく。 復習:(60分) 振り返り・評価を再度考え、まとめる。											
	11	小学校第6学年実践事例「三内丸山遺跡と大鱗町駒木遺跡」①～教材と学習計画～ 予習:(30分) 小学校社会科学習指導要領をよく読み、目標・趣旨・要点を確認し、まとめる。 復習:(60分) 配付した学習指導案を通して、教材と学習計画を読み返し、復習する。											
	12	小学校第6学年実践事例「三内丸山遺跡と大鱗町駒木遺跡」②～本時の展開～ 予習:(30分) 本時の展開を確認しておく。 復習:(60分) 本時の展開を読み返し、復習する。											
	13	小学校第6学年実践事例「三内丸山遺跡と大鱗町駒木遺跡」③～振り返り・評価～ 予習:(30分) 振り返り・評価を確認しておく。 復習:(60分) 振り返り・評価を再度考え、まとめる。											
	14	小学校社会科の可能性・発展性とは～小学校第5学年道徳実践事例「りんごのなみだ」を通して～ 予習:(30分) 小学校社会科学習指導要領を読み、目標・趣旨・要点を確認し、まとめる。 復習:(60分) 配布した学習指導案を通して、社会科と道徳科のつながりを再度考え、復習する。											
15	講義全体のまとめ 予習:(30分) これまでの授業で配付した学習指導案を再度、読み返しおく。 復習:(60分) 今後の授業づくりへの課題をまとめる。												
教科書・教材	文部科学省「小学校学習指導要領解説 社会編」												
参考書・参考文献等	特になし												
履修上の注意等	○担当教員が、小学校現場で教材開発し、実践してきた授業を分析・解説をしていく演習です。進んで学ぶ力を育ててください。												
実務経験との関連	実務経験の有無	有	弘前市小学校社会科教育研究会に属し、教育行政・小学校校長の経験ある教員が、東北及び全国大会等で実践発表した内容を通して、小学校社会科の授業づくりの基礎・基本を指導する。										

[2312] 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科						
図画工作A			演習	工藤千華	2年	前期	こども発達学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無				
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士					
1	15	30		1	○				期末試験				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》			
	○	—	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	○
	≪知識・理解≫		素材の特性、平面技法の基本								期末レポート		
	≪汎用的技能≫		表現にあった素材の活用、Webの活用								授業内小テスト		
	≪態度・志向性≫		共同制作、制作態度								授業内提出物	70	有
										授業内活動	30	有	
										その他			
										計	100		
										フィードバックの方法			
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		素材の特性、平面技法の基本								制作した作品の鑑賞		
	≪汎用的技能≫		表現にあった素材の活用、Webの活用										
	≪態度・志向性≫		共同制作、制作態度								アクティブラーニングの有無(内容)	有	
授業概要	実技を中心とした活動を通して、図画工作の楽しさや喜びを体験できるよう指導する。造形表現における材料や用具の扱い方について説明し、安全で効果的な活用方法を示す。									個人ごとの造形活動、共同制作におけるグループ活動			
授業の到達目標	児童の造形活動に必要な素材に関する特性を理解し、教育的観点から適切に活用できる。道具に関する知識を習得し、使用方法や基本的な技法を習得する。												
単位認定の要件	課題作品(70%)、制作の取り組み状況(30%)の合計点が60点以上。												
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容											
	1	授業ガイダンス 予習:(25分)小学校学習指導要領解説図画工作編の熟読。 復習:(20分)小学校学習指導要領解説図画工作編の熟読。											
	2	①紙を使った造形表現 予習:(25分)紙を使った造形作品の熟読とスケッチ。 復習:(20分)紙を使った造形活動の計画書作成。											
	3	①紙を使った造形表現 予習:(25分)紙を使った造形作品に関するネット調査。 復習:(20分)紙を使った造形活動の計画書作成。											
	4	②布を使った造形表現 予習:(25分)布を使った造形作品の熟読とスケッチ。 復習:(20分)布を使った造形活動の計画書作成。											
	5	②布を使った造形表現 予習:(25分)布を使った造形作品に関するネット調査。 復習:(20分)布を使った造形活動の計画書作成。											
	6	②布を使った造形表現 予習:(25分)布を使った造形作品に関するネット調査。 復習:(20分)布を使った造形活動の計画書作成。											
	7	③水彩絵の具を使った造形表現 予習:(25分)水彩絵の具を使った造形作品の熟読とスケッチ。 復習:(20分)水彩絵の具を使った造形活動の計画書作成。											
	8	③水彩絵の具を使った造形表現 予習:(25分)水彩絵の具を使った造形作品に関するネット調査。 復習:(20分)色面の構成に関する造形活動の計画書作成。											
	9	③水彩絵の具を使った造形表現 予習:(25分)水彩絵の具を使った造形作品に関するネット調査。 復習:(20分)色面の構成に関する造形活動の計画書作成。											
	10	④張り子技法を使った造形表現 予習:張り子技法を使った造形作品に関するネット調査。 復習:張り子技法を使った造形活動の計画書作成。											
	11	⑤張り子技法造形表現 予習:張り子技法を使った造形作品の熟読とスケッチ。 復習:張り子技法を使った造形活動の計画書作成。											
	12	⑤張り子技法造形表現 予習:張り子技法を使った造形作品に関するネット調査。 復習:張り子技法を使った造形活動の計画書作成。											
	13	⑥共同制作による壁面の装飾 予習:(25分)壁面の熟読とスケッチ。 復習:(20分)共同制作による造形活動の計画書作成。											
	14	⑥共同制作による壁面の装飾 予習:(25分)共同制作に関するネット調査。 復習:(20分)共同制作による造形活動の計画書作成。											
	15	⑥共同制作による壁面の装飾 予習:(25分)共同制作に関するネット調査。 復習:(20分)共同制作による造形活動の計画書作成。											
教科書・教材	特になし。												
参考書・参考文献等	「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説図画工作編」(日本文教出版)、「図画工作科教育法」(萌文書林)												
履修上の注意等	絵の具セット、はさみ、カッター、ボンドは、必ず持参する。												
実務経験との関連	実務経験の有無	無											

[2313] 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科						
図画工作B			演習	工藤千華	2年	後期	こども発達学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無				
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士					
1	15	30		1	○				期末試験				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》			
	○	—	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	○
	≪知識・理解≫ 素材の特性、平面技法の基本		≪汎用的技能≫ 表現にあった素材の活用、Webの活用			≪態度・志向性≫ 共同制作、制作態度				制作した作品の鑑賞			
	≪知識・理解≫ 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				アクティブラーニングの有無(内容)	有		
授業概要	実技を中心とした活動を通して、図画工作の楽しさや喜びを体験できるように指導する。各素材や用具の安全な取り扱い方及び基本的な技法について説明し、実践を通して理解を深められるようにする。制作過程及び完成作品の振り返りを行い、表現の意図や工夫について考察させる。									個人ごとの造形活動、共同制作におけるグループ活動			
授業の到達目標	児童の造形活動に必要な素材に関する特性を理解し、それぞれの特徴を踏まえて適切に選択・活用できるようになる。道具に関する知識を習得し、使用方法を身に付ける。												
単位認定の要件	課題作品(70%)、制作の取り組み状況(30%)の合計点が60点以上。												
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容											
	1	授業のガイダンス 予習:(25分)小学校学習指導要領解説図画工作編の熟読。 復習:(20分)小学校学習指導要領解説図画工作編の熟読。											
	2	①アルミホイルと針金を使った造形表現 予習:(25分)アルミホイルと針金を使った造形作品の熟思とスケッチ。 復習:(20分)アルミホイルと針金を使った造形活動の計画書作成。											
	3	①アルミホイルと針金を使った造形表現 予習:(25分)アルミホイルと針金を使った造形作品に関するネット調査。 復習:(20分)アルミホイルと針金を使った造形活動の計画書作成。											
	4	①アルミホイルと針金を使った造形表現 予習:(25分)アルミホイルと針金を使った造形作品に関するネット調査。 復習:(20分)アルミホイルと針金を使った造形活動の計画書作成。											
	5	版を使った造形表現(1) 予習:(25分)版を使った造形作品の熟思とスケッチ。 復習:(20分)版を使った造形活動の計画書作成。											
	6	版を使った造形表現(2) 予習:(25分)版を使った造形作品に関するネット調査。 復習:(20分)版を使った造形活動の計画書作成。											
	7	版を使った造形表現(3) 予習:(25分)版を使った造形作品に関するネット調査。 復習:(20分)版を使った造形活動の計画書作成。											
	8	木材を使った造形表現(1) 予習:(25分)木材を使った造形作品の熟思とスケッチ。 復習:(20分)木材を使った造形活動の計画書作成。											
	9	木材を使った造形表現(2) 予習:(25分)木材を使った造形作品に関するネット調査。 復習:(20分)木材を使った造形活動の計画書作成。											
	10	木材を使った造形表現(3) 予習:(25分)木材を使った造形作品に関するネット調査。 復習:(20分)木材を使った造形活動の計画書作成。											
	11	段ボールを使った共同制作(1) 予習:(25分)段ボールを使った立体作品の熟思とスケッチ。 復習:(20分)段ボールを使った共同制作の計画書作成。											
	12	段ボールを使った共同制作(2) 予習:(25分)段ボールを使った立体作品に関するネット調査。 復習:(20分)段ボールを使った共同制作の計画書作成。											
	13	段ボールを使った共同制作(3) 予習:(25分)段ボールを使った立体作品に関するネット調査。 復習:(20分)段ボールを使った共同制作の計画書作成。											
	14	段ボールを使った共同制作(4) 予習:(25分)段ボールを使った立体作品に関するネット調査。 復習:(20分)段ボールを使った共同制作の計画書作成。											
	15	自由課題(1) 予習:(25分)様々な素材に関するネット調査。造形活動の熟思と作品のスケッチ。 復習:(20分)造形活動の計画書作成。											
教科書・教材	特になし。												
参考書・参考文献等	「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説図画工作編」(日本文教出版)、「図画工作科教育法」(萌文書林)												
履修上の注意等	絵の具セット、はさみ、カッター、ボンドは必ず持参する。												
実務経験との関連	実務経験の有無	無											

[2314] 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
家庭			演習	葛西美樹・工藤寧子	2年	後期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30			1		○				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		《汎用的技能》 コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				《態度・志向性》 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》
	○		○		○		○	○	○	○	
	—		—		—		—	—	—	—	
	—		—		—		—	—	—	—	
当該科目のキーワード	《知識・理解》		家庭科の3領域								授業内小テスト・提出物・活動は授業内でコメントをする。
	《汎用的技能》		生活課題の解決力								
	《態度・志向性》		生活の管理、協調								
授業概要	小学校家庭科教育のために必要となる衣食住・家族・消費・環境などの基礎的な事項を解説する。生活をよりよくする視点を持ち、自分の暮らしと結び付け、課題意識を持ちながら総合的に学習することを説明する。									グループワーク	
授業の到達目標	小学校家庭科で取り扱う「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」領域の基礎的な内容を理解できる。										
単位認定の要件	講義内活動、講義内提出物、レポート課題等の取り組みを総合的に判断し60%以上の習得とする。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	ガイダンス 授業概要 (葛西) 予習:(0分) 復習:(45分) 小学校家庭科の教科書を読む。									
	2	家庭科教育の特徴 (葛西) 予習:(0分) 復習:(45分) 家庭科の特徴をプリントで確認する。									
	3	自分の成長と家族・家庭生活 (工藤) 予習:(20分) 小学校家庭科の教科書の目次を見て確認する。 復習:(25分) 小学校家庭科の教科書に記載されている場所を調べる。									
	4	家族の生活と仕事 (工藤) 予習:(0分) 復習:(45分) 小学校家庭科の教科書に記載されている場所を調べる。									
	5	家族や地域の人々とのかわり (工藤) 予習:(0分) 復習:(45分) 小学校家庭科の教科書に記載されている場所を調べる。									
	6	家族・家庭生活についての課題と実践 (工藤) 予習:(0分) 復習:(45分) 小学校家庭科の教科書に記載されている場所を調べる。家族・家庭生活の内容について確認する。									
	7	食事の役割 (葛西) 予習:(20分) 食生活分野の学習内容について確認する。 復習:(25分) 小学校家庭科の教科書に記載されている場所を調べる。									
	8	調理の基礎 (葛西) 予習:(0分) 復習:(45分) 小学校家庭科の教科書に記載されている場所を調べる。									
	9	栄養を考えた食事 (葛西) 予習:(0分) 復習:(45分) 小学校家庭科の教科書に記載されている場所を調べる。									
	10	衣服の着用と手入れ (葛西) 予習:(20分) 衣生活分野の学習内容について確認する。 復習:(25分) 小学校家庭科の教科書に記載されている場所を調べる。									
	11	生活を豊かにするための布を用いた製作 (葛西) 予習:(0分) 復習:(45分) 小学校家庭科の教科書に記載されている場所を調べる。									
	12	快適な住まい方 (葛西) 予習:(20分) 住生活分野の学習内容について確認する。 復習:(25分) 小学校家庭科の教科書に記載されている場所を調べる。									
	13	物や金銭の使い方と買い物 (工藤) 予習:(0分) 復習:(45分) 小学校家庭科の教科書に記載されている場所を調べる。									
	14	環境に配慮した生活 (工藤) 予習:(0分) 復習:(45分) 小学校家庭科の教科書に記載されている場所を調べる。家庭科の学習内容について確認する。									
	15	まとめおよび確認 (葛西・工藤) 予習:(45分) 小学校家庭科の目標と学習内容について確認する。									
教科書・教材	小学校学習指導要領解説 家庭編 わたしたちの家庭科5・6(開隆堂)、新しい家庭5・6(東京書籍)										
参考書・参考文献等	特になし										
履修上の注意等	家庭科教育法の基礎となる内容なので、知識の理解と定着に努めること										
実務経験との関連	実務経験の有無	無									

[2315] 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
小学体育A			演習	上野秀人	2年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1	○				期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	
	○	—	○	○	—	—	—	○	○	○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		運動特性・ルールの解釈							
	≪汎用的技能≫		運動スキルの解釈							
	≪態度・志向性≫		探求心、協力・協働・協調							
授業概要	小学校体育科の領域のうち、主に陸上運動とボール運動の内容について取り扱い、理解を深める。様々な運動の持つ特性、ねらい、ルールや審判法を学ぶことにより、自らが楽しんで行う運動実践、さらには仲間との協力・協調から学ぶ社会的態度の育成を図りながら、教員を目指す者の資質向上に役立てたい。 ※天候や施設用具によって活動内容・場所を変更する								グループディスカッション・グループワーク	
授業の到達目標	①小学校体育科のねらいと内容を理解する ②高学年の運動課題の解決に努める ③技や動きのコツをつかみ、よりよい動きを身につける									
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	本授業の目的、概要・計画について、準備運動 予習:(45分)小学校学習指導要領(体育編)の教科の目標及び内容について調べる 復習:(30分)体育科の内容構成について理解する								
	2	陸上運動(走1):走る・リレー 予習:(45分)リレーに関わるルール(施設用器具及び競技)を調べる 復習:(30分)走の運動遊び・様々な走運動・競技としての走運動を理解する								
	3	陸上運動(障害走1):リズムカルに飛び越える、まとめ 予習:(45分)ハードル走におけるルール(施設用器具及び競技)を調べる 復習:(30分)障害走の運動遊び・障害走の運動・競技としての障害走を理解する								
	4	陸上運動(障害走2):リズムカルに飛び越える、まとめ 予習:(45分)ハードル走におけるルール(施設用器具及び競技)を調べる 復習:(30分)障害走の運動遊び・障害走の運動・競技としての障害走を理解する								
	5	陸上運動(投運動) 予習:(45分)投のルール(施設用器具及び競技)を調べる 復習:(30分)投の運動遊び・投運動を理解する								
	6	体力測定(新体力テスト):新体力テストの実施、評価 予習:(45分)新体力テストの種目、実施方法、実施上の留意点を調べる 復習:(35分)新体力テストの種目、実施方法、実施上の留意点を理解する								
	7	ボール運動(ネット型1):「ネット型」ゲームの行い方 予習:(45分)「ネット型」のゲームの種類やその行い方について調べる 復習:(30分)ネット型の行い方を理解する								
	8	ボール運動(ネット型2):「ネット型」ゲームの行い方、ボール操作 予習:(45分)「ネット型」の行い方や運動が苦手な児童への配慮について調べる 復習:(30分)各種の運動の特性や指導上の留意点について理解する								
	9	ボール運動(ネット型3):「ネット型」ボール操作、ボールを持たない動き 予習:(45分)「ネット型」の行い方や運動が苦手な児童への配慮について調べる 復習:(30分)各種の運動の特性や指導上の留意点について理解する								
	10	ボール運動(ネット型4):作戦を考える 予習:(45分)「ネット型」の行い方や作戦について調べる 復習:(30分)各種の運動の特性や指導上の留意点について理解する								
	11	ボール運動(ネット型5):実技テスト、まとめ 予習:(45分)「ネット型」の行い方や作戦を確認する 復習:(30分)各種の運動の特性や指導上の留意点について理解する								
	12	ボール運動(ゴール型1):「ゴール型」ゲームの行い方、投げる、受ける、止める等のボール操作 予習:(45分)「ゴール型」ゲームの種類やその行い方について調べる 復習:(30分)ボール操作やボールを持たないときの動きについて理解する								
	13	ボール運動(ゴール型2):「ゴール型」ゲームの行い方、ボール操作、まとめ 予習:(45分)ボール運動「ゴール型」ゲームの種類やその行い方について調べる 復習:(30分)ボール操作やボールを持たないときの動きについて理解する								
	14	ボール運動(ベースボール型1):「ベースボール型」ゲームの行い方、蹴る、受ける等のボール操作 予習:(45分)「ベースボール型」ゲームの種類やその行い方について調べる 復習:(30分)ボール操作やボールを持たないときの動きについて理解する								
	15	ボール運動(ベースボール型2):作戦を考える、実技テスト、まとめ 予習:(45分)「ベースボール型」の行い方、ルールを確認する 復習:(30分)打球の捕球や捕球する相手に向かっての投球、ゲームにおける作戦を理解する								
教科書・教材	小学校学習指導要領解説 体育編(文部科学省)									
参考書・参考文献等	授業内で適宜資料を配付します。									
履修上の注意等	習得の効果をより高めるために教科書をよく読み、技のポイント確認と予備学習に努めてください ※天候や施設用具によって活動内容・場所を変更する									
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校及び在外教育施設における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する							

[2316] 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
小学体育B			演習	上野秀人	2年	後期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無		
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士			
1	15	30		1		○					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末試験 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 20 無 授業内活動 50 無 その他 30 無 計 100 フィードバックの方法		
	○	—	—	○	—	—	—	○		○	○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		運動特性の理解							アクティブラーニングの有無(内容)	有
	≪汎用的技能≫		運動スキル								
	≪態度・志向性≫		協働性								
授業概要	小学校学習指導要領(体育編)の内容から、器械運動(マット運動、跳び箱運動、鉄棒運動)、体づくり運動について扱い、それらの運動特性に触れながら、技の習得を目指す。「できるより上手できる」を目標に、児童の実態に対応した指導につなげる。また、雪国の地域性を活かした雪上運動も含めて行う。								グループディスカッション、グループワーク		
授業の到達目標	小学校体育科のねらいと内容を理解し、高学年の課題解決に努める。技や動きのコツをつかみ、より安定した技の習得と、安全な補助法を身につける。										
単位認定の要件	高学年の内容から提示される実技課題において、技の完成度が概ね認められる										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	本授業の目的、概要・計画について 集団行動1 予習:(40分)小学校学習指導要領(体育編)の教科の目標及び内容について調べる 復習:(40分) 集団行動の必要性和号令のかけ方									
	2	集団行動2 予習:(40分)小学校学習指導要領(体育編)の集団行動の確認 復習:(40分) 集団行動の仕方と号令のかけ方									
	3	体づくり1 予習:(40分)小学校学習指導要領(体育編)の体づくりの目標及び内容について調べる 復習:(40分) 運動の仕方と指導の仕方確認									
	4	体づくり2 予習:(40分)小学校学習指導要領(体育編)の体づくりの目標及び内容の確認 復習:(40分) 運動の仕方と指導の仕方確認									
	5	体づくり3 実技テスト、まとめ 予習:(40分)小学校学習指導要領(体育編)の体づくりの目標及び内容の確認 復習:(40分) 運動の仕方と指導の仕方確認									
	6	器械運動1(マット運動1)、基本の運動、回転系、巧技系 予習:(40分)柔軟運動及び体づくりを調べる 復習:(40分) 技の復習及び学習指導要領等による指導のポイント確認									
	7	器械運動2(マット運動2)、回転系、巧技系、発展技 予習:(40分)柔軟運動及び体づくりの確認 復習:(40分) 技の復習及び学習指導要領等による指導のポイント確認									
	8	器械運動3(マット運動3)、発展技・連続技 予習:(40分)柔軟運動及び体づくり・マット運動演技構成の確認 復習:(40分) 技の復習及び学習指導要領等による指導のポイント確認									
	9	器械運動4(マット運動4) 連続技の組み立て 予習:(40分)柔軟運動及び体づくり・マット運動演技構成確認 復習:(40分) マット運動演技反省及び技の復習									
	10	器械運動4(マット運動5) 連続技の組み立て及び修正 予習:(40分)柔軟運動及び体づくり・マット運動演技構成確認 復習:(40分) マット運動演技反省及び技の復習									
	11	器械運動6(マット運動6) 実技テスト、まとめ 予習:(40分)柔軟運動及び体づくり・マット運動演技構成確認 復習:(40分) 技の復習及び学習指導要領等による指導のポイント確認									
	12	器械運動7(跳び箱運動) 開脚跳び 予習:(40分)柔軟運動及び体づくり 復習:(40分) 技の復習及び学習指導要領等による指導のポイント確認									
	13	器械運動8(鉄棒運動①) 基本の運動、上がり技、下り技、支持回転技 予習:(40分)基本の運動、上がり技、下り技、支持回転技の確認 復習:(40分) 技の復習及び学習指導要領等による指導のポイント確認									
	14	器械運動9(鉄棒運動②) 発展技・技の組み合わせ、まとめ 予習:(40分)柔軟運動及び体づくり・鉄棒運動の演技構成確認 復習:(40分) 鉄棒運動反省及び技の復習									
	15	まとめ、雪上運動 予習:(40分)これまでの基本的運動の確認 復習:(40分) 学習指導要領等による指導のポイント(本講義内容)のまとめ									
教科書・教材	小学校学習指導要領解説 体育編(文部科学省)										
参考書・参考文献等	授業内で適宜参考資料を配付する										
履修上の注意等	習得の効果をより高めるために教科書をよく読み、技のポイント確認と予備学習に努めてください ※天候や施設用具によって活動内容・場所を変更する										
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校及び在外教育施設における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する								

【2501】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
子どもの健康と安全			演習	高橋正行	2年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1		○	○		期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 40 有 授業内提出物 40 有 授業内活動 20 有 その他 計 100 フィードバックの方法	
	○	—	—	○	—	—	—	○		—
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		乳幼児の発育、発達、疾病、障害に関する知識・理解							提出物は、評価したのちに返却する。授業内小テストは、都度評価をし、賞賛、激励、助言を行う。 アクティブラーニングの有無(内容) 有
	≪汎用的技能≫		危機管理能力、救急処置や衛生管理の実践力							
	≪態度・志向性≫		子どもの健康と安全を守る責任感							
授業概要	子どもの保健で学んだ内容を更に発展させ、演習を中心に乳幼児のケアや健康管理、安全管理、健康教育を実践できるよう学んでいく。発育測定や事後措置の実習、消防署の救急救命講習を利用したの救急処置の実習、保健便りの作成などを通して、保育の現場ですぐに役立つ実践力を身につける。									
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病とその予防及び衛生管理、体調不良等に対する適切な対応ができるよう、知識や実践力を習得する。 ・日常の保育の中での養護や援助の方法・技術を身につける。 ・救急時の対応や事故防止、安全管理について実践できるようになる。 ・保健の知識をふまえた上で、家庭や地域との連携のあり方を考える。 									
単位認定の要件	試験、授業内活動、提出物の合計評価が60点以上の者に単位を認定する。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	授業の概要(目的・計画・履修上の留意事項・評価)について解説する。子どもの事故の理解 予習:(15分) 指定のテキスト第16節(16コマ目)に目を通しておく。 復習:(30分) テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。								
	2	災害への備え① 予習:(15分) 指定のテキスト第17節(17コマ目)に目を通しておく。 復習:(30分) テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。								
	3	災害への備え②(子どもの命を守る)*外部講師による講話 予習:(30分) 東日本大震災について書籍やウェブサイト等から情報を得ておく。 復習:(15分) 外部講師の講話内容を振り返る。								
	4	子どもの体調不良への対応 予習:(15分) 指定のテキスト第18節(18コマ目)に目を通しておく。 復習:(30分) テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。								
	5	子どもの応急処置・救急処置 予習:(15分) 指定のテキスト第19節(19コマ目)に目を通しておく。 復習:(30分) テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。								
	6	子どもの応急処置・救急処置(救急救命講習) 予習:(15分) 配付資料に目を通しておく。 復習:(30分) 配付資料をもとに講義内容を振り返る。								
	7	感染症の予防(感染経路、感染症対策の体制、保育所の予防体制) 予習:(15分) 指定のテキスト第20節(20コマ目)、第21節(21コマ目)に目を通しておく。 復習:(30分) テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。								
	8	子どもの保健的対応①(保健管理、健康教育) 予習:(15分) 指定のテキスト第22節(22コマ目)、第23節(23コマ目)に目を通しておく。 復習:(30分) テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。								
	9	子どもの保健的対応②(ペーパーサート作成) 予習:(15分) ペーパーサートのストーリーのアイデアを考えておく。 復習:(30分) ペーパーサートの発表に向けた準備をする。								
	10	子どもの保健的対応③(ペーパーサートの発表) 予習:(30分) ペーパーサートの発表に向けた準備をする。 復習:(15分) 発表の出来映えについて振り返る。								
	11	子どもの保健的対応④(歯、睡眠、抱っこ、おむつ替え) 予習:(15分) 指定のテキスト第24節(24コマ目)、第25節(25コマ目)に目を通しておく。 復習:(30分) テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。								
	12	慢性疾患のある子どもへの対応、障害のある子どもへの対応 予習:(15分) 指定のテキスト第26節(26コマ目)、第27節(27コマ目)に目を通しておく。 復習:(30分) テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。								
	13	アレルギーのある子どもへの対応 予習:(15分) 指定のテキスト第28節(28コマ目)に目を通しておく。 復習:(30分) テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。								
	14	地域の保健活動と保育(地域における子育て支援、医療的ケア児) 予習:(15分) 指定のテキスト第29節(29コマ目)に目を通しておく。 復習:(30分) テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。								
	15	保健活動の計画と評価(保健だより作成) 予習:(15分) 指定のテキスト第30節(30コマ目)に目を通しておく。 復習:(30分) テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。								
教科書・教材	松本峰雄監修 小林玄ほか著 子どもの健康と安全 演習ブック ミネルヴァ書房 (前期「子どもの保健」で使用)									
参考書・参考文献等	「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「幼稚園教育要領」など									
履修上の注意等	実習時の服装は、ジャージ、エプロン、名札、長い髪は後ろで1つに結うこと(事前に指示する)。東日本大震災の講話、救急救命講習は外部講師に依頼することから、日程が変更になることがある。									
実務経験との関連	実務経験の有無	無								

【2502】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
子どもの保健			講義	高橋正行	2年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30		2		○	○		期末試験	40	無					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、適切な課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力		チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	30
	○	—	○	—	○	—	—	○	—	○	○	—	○	授業内小テスト	15	有
													○	授業内提出物	15	有
														授業内活動	15	有
														その他		
														計	100	
														フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		子どもの成長・発達 病気 虐待防止									授業内小テストは都度評価をし、解説を加える。授業内提出物は評価後返却する。授業内活動は都度、賞賛、励まし、助言を行う。				
	《汎用的技能》		子どもの健康状態のアセスメント 保護者対応									アクティブラーニングの有無 (内容)	有			
	《態度・志向性》		子どもの権利や保健活動の意義の体現													
授業概要	乳幼児期を中心に、子どもの成長発達と生活機能を支える保育・養護の意義について解説する。また、小児感染症などかかりやすい疾病の特徴と観察ポイント、児童虐待防止などの基礎的な知識や技術について解説する。										グループディスカッション、グループワーク					
授業の 到達目標	子どもの発達を促し、生活機能や健康を維持増進するための、基本的な知識を身に付ける。 子どもの身体発育や生理機能、運動機能の発達を理解できる。 子どもが自分の育ちに参加するために、家族や地域の社会資源とともに子どもを支える意義が理解できる。 乳幼児期にかかりやすい病気の特徴を理解し、対応することができる。 子どもの虐待の現状を把握し、虐待防止のための知識や対応を身に付ける。															
単位認定の要件	到達目標の合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	授業の概要(目的・計画・履修上の留意事項・評価)について解説する。子どもの健康と保健の意義 予習:(90分)指定のテキスト第1節(1コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	2	子どもの発育の理解 予習:(90分)指定のテキスト第2節(2コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	3	子どもの体の理解①(呼吸器系、循環器系、消化器系) 予習:(90分)指定のテキスト第3節(3コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	4	子どもの体の理解②(免疫機能、排泄機能等) 予習:(90分)指定のテキスト第4節(4コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	5	子どもの発達の理解①(各領域における発達) 予習:(90分)指定のテキスト第5節(5コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	6	子どもの発達の理解②(発達障害) 予習:(90分)指定のテキスト第6節(6コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	7	子どもの健康状態を知る①(健康観察等) 予習:(90分)指定のテキスト第7節(7コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	8	子どもの健康状態を知る②(健康診断、情報の共有) 予習:(90分)指定のテキスト第8節(8コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	9	子どもの病気とその対処法(発熱、嘔吐、下痢、頭痛、腹痛等) 予習:(90分)指定のテキスト第9節(9コマ目)、第10節(10コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	10	子どもの病気とその対処法(感染症) 予習:(90分)指定のテキスト第11節(11コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	11	子どもの病気とその対処法(子どもによく見られる病気) 予習:(90分)指定のテキスト第12節(12コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	12	子どもの病気の予防(予防接種) 予習:(90分)指定のテキスト第13節(13コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	13	地域の保健活動と虐待防止①(保健活動の概要、虐待の現状) 予習:(90分)指定のテキスト第14節(14コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	14	地域の保健活動と虐待防止②(虐待の防止) 予習:(90分)指定のテキスト第14節(14コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	15	子どもの健康と保育の環境 予習:(90分)指定のテキスト第15節(15コマ目)に目を通しておく。 復習:(90分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
教科書・教材	松本峰雄監修 小林玄ほか著 子どもの保健と安全 演習ブック ミネルヴァ書房															
参考書・ 参考文献等	「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「幼稚園教育要領」など															
履修上の 注意等	授業で学生自身の「母子健康手帳」を教材として活用しますので、各自「手帳」の原本または写しを用意してください。期末テストの内容は、主に授業内小テストより出題する。															
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無														

【2504】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
子どもの環境			演習	吉田裕美子	2年	前期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
1	15	30		1		○		○	期末試験			
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート	50	有
	○	—	○	○	○	○	○	—		○	—	○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		幼児の発達と環境との関わりについての知識・理解							観察カードや製作物の点検を行い、それぞれのよさを指摘し励ます。随っている課題については個別に助言を加える。		
	≪汎用的技能≫		言語系、非言語系による伝達のための技能									
授業概要	≪態度・志向性≫		グループ活動における協働性							アクティブラーニングの有無(内容) 有		
	幼児を取り巻く物的、人的、社会的環境等との関わりが幼児の発達、特に思考力や科学的な見方・考え方の芽生えとなる事を理解すると共に、幼児が興味・関心や好奇心・探究心をもち能動的に関わるようにするための望ましい関わり方や幼児教育の専門家としての共感的な援助はどうかあればよいかについて解説する。										グループディスカッション、グループワーク	
授業の到達目標	目標：幼児を取り巻く様々な環境の教育的意義や幼児の思考・科学的概念発達の理解、標識や文字等の情報や施設との関わりを理解できること。また、人的環境の最も重要な環境は保育者であり、子どもの発見や驚き、気付きに共感できる望ましい援助の仕方ができる。											
単位認定の要件	小テスト(幼稚園教育要領「環境」の理解)、主体的な学習活動、子どもへの共感的な援助など											
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										
	1	第1回：幼児を取り巻く環境(物的・人的・社会的)の現状 予習:(30分) 子どもが育つ環境 復習:(15分) 日本における社会環境の変化と課題										
	2	第2回：保育内容「環境」の意義 予習:(30分) 幼稚園教育要領解説の熟読 復習:(15分) 環境を通して行う教育、保育内容「環境」のねらいについて理解を深める										
	3	第3回：好奇心・探究心を育む保育 予習:(30分) 乳児期の子どもの「環境を探索する」姿 復習:(15分) 子ども的好奇心・探究心を育てる環境構成や保育方法										
	4	第4回：思考力を育む保育 予習:(30分) 幼児期における思考の発達を踏まえた保育 復習:(15分) 事例を通して理解を深める										
	5	第5回：人的環境と物的環境 予習:(30分) 人的環境である保育士、物的環境である園内環境のあり方 復習:(15分) 事例を通して理解を深める										
	6	第6回：地域・行事との関わり 予習:(30分) 行事と自然との関連性や行事の意義 復習:(15分) 事例を通して理解を深める										
	7	第7回：日常生活における数量・図形 予習:(30分) 保育における数量・図形・標識・文字の扱い 復習:(15分) 数量や図形に関わり親しむ経験										
	8	第8回：石・砂・泥に関わる保育 予習:(30分) 砂・土・泥を利用した遊び 復習:(15分) 自然の不思議に対する好奇心や探求心										
	9	第9回：動植物に関わる保育 予習:(30分) 四季に応じた植物に関する遊びや、身近な小動物に関する遊び 復習:(15分) 事例を通して理解を深める										
	10	第10回：身の周りの素材を活かした保育 予習:(30分) 身の回りのものを利用した素材とその活動案 復習:(15分) 事例を通して理解を深める										
	11	第11回：保育内容「環境」に関する教材研究① 予習:(30分) 園の環境についての調査① 復習:(15分) 調査をまとめる										
	12	第12回：保育内容「環境」に関する教材研究② 予習:(30分) 園の環境についての調査② 復習:(15分) 調査をまとめる										
	13	第13回：保育内容「環境」に関する教材研究③ 予習:(30分) 園の環境についての調査③ 復習:(15分) 各班でまとめる										
	14	第14回：保育内容「環境」に関する教材研究④ 予習:(30分) 園の環境についてのまとめを発表 復習:(15分) まとめを振り返り、講評										
	15	第15回：まとめ 保育内容「環境」における課題 予習:(30分) 保育内容「環境」からみた実践的な課題保育 復習:(15分) 各班の発表からの振り返りを行う										
教科書・教材	幼稚園教育要領解説(文部科学省発行・フレーベル館)											
参考書・参考文献等	新訂 事例で学ぶ保育内容 領域 環境											
履修上の注意等	新幼稚園教育要領及び保育所保育指針における「環境」の重要性の理解とともに実体験を交えながら子どもの環境についての授業を展開していく。後期は悪天候が予想されるため、天候によって計画を変更する場合もある。計画の変更や事前の準備物等については事前に連絡する。											
実務経験との関連	実務経験の有無	無										

【2505】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
子どもの言葉			演習	澤村美千代	2年	前期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無								
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士									
1	15	30		1		小学校	○	○	期末試験								
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート	30	無					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力		チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	20	有
	○	—	○	—	—	○	—	—	○	○	—	—	○	—	授業内提出物	20	有
															授業内活動	30	有
															その他		
															計	100	
															フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		言葉の発達							①時間内に教師が答えを発表し、学生に自己採点させる。 ②提出物等の結果は、ICTの活用や口頭により、全体に解説する。							
	《汎用的技能》		言葉遊び														
	《態度・志向性》		児童文化財							アクティブラーニングの有無 (内容)	有						
授業概要	領域「言葉」を指導するうえで基礎となる、「幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げる」ために必要な、専門的知識を修得する。幼児の言葉の発達過程や言葉に対する感覚、児童文化財の種類等の理解については、ICTの活用や演習、協議等を積極的に取り入れる。									演習、個別・ペア・グループワーク 学習等							
授業の 到達目標	①人間にとって「言葉の意義や機能とは何か」を理解する。 ②言葉に対する感覚を豊かにする知識や実践方法について理解する。 ③幼児にとって「児童文化財の意義とは何か」を理解する。																
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	人間にとって「言葉」とは何か—言葉の意義と機能 予習:(20分)言葉の意義と機能について、自分が思ったことや考えたことを200〜300字程度にまとめること 復習:(40分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の気付きや考えも書いておくこと															
	2	言葉の獲得(1)—子どもの言葉の発達過程:喃語・指さし 予習:(20分)「喃語」「指さし」について、教科書の該当箇所、資料等を使って、調べておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の気付きや考えも書いておくこと															
	3	言葉の獲得(2)—子どもの言葉の発達過程:話し言葉・1次的言葉 予習:(20分)「話し言葉」「1次的言葉」について、教科書の該当箇所、資料等を使って、調べておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の気付きや考えも書いておくこと															
	4	言葉の獲得(3)—子どもの言葉の発達過程:書き言葉・2次的言葉 予習:(20分)「書き言葉」「2次的言葉」について、教科書の該当箇所、資料等を使って、調べておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の気付きや考えも書いておくこと															
	5	言葉の感覚とは何か—言葉の美しさ、楽しさを感じる 予習:(20分)「言葉の美しさ、楽しさ」について、自分が思ったことや考えたことを200〜300字程度にまとめること 復習:(40分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の気付きや考えも書いておくこと															
	6	言葉に対する感覚を豊かにする言葉遊び(1)—言葉遊びの種類・基礎的な知識等 授業内小テスト① 予習:(20分)「言葉遊び」について、教科書の該当箇所、資料等を使って、調べておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の気付きや考えも書いておくこと															
	7	言葉に対する感覚を豊かにする言葉遊び(2)—言葉遊びの体験等(言葉に関する遊びを立案し、指導計画案を書く) 授業内小テスト② 予習:(20分)模擬保育で使ってみよう言葉遊びを一つ選び、その遊びについて調べておくこと 復習:(40分)授業で作成した指導計画案を発表するための準備、練習をしておくこと															
	8	言葉に対する感覚を豊かにする言葉遊び(3)—言葉遊びと言葉の発達との関連 授業で作成した指導計画案を発表する(グループ1) 予習:(20分)「言葉遊びと言葉の発達との関連」について、資料等を読んで確かめておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の気付きや考えも書いておくこと															
	9	言葉を育み、想像を広げる児童文化財(1)—子どもにとって児童文化財の意義とは 授業で作成した指導計画案を発表する(グループ2) 予習:(20分)「子どもにとって児童文化財の意義」について、資料等を読んで確かめておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の気付きや考えも書いておくこと															
	10	言葉を育み、想像を広げる児童文化財(2)—児童文化財の種類・基礎的な知識等 授業で作成した指導計画案を発表する(グループ3) 予習:(20分)「児童文化財の種類・基礎的な知識等」について、教科書の該当箇所、資料等を使って、調べておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の気付きや考えも書いておくこと															
	11	言葉を育み、想像を広げる児童文化財(3)—児童文化財と言葉の発達との関連 授業で作成した指導計画案を発表する(グループ4) 予習:(20分)「児童文化財と言葉の発達との関連」について、資料等を読んで確かめておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の気付きや考えも書いておくこと															
	12	言葉を育み、想像を広げる児童文化財を用いた実践(1)—素話(昔話):ストーリーテリング 授業内小テスト③ 予習:(20分)「素話(昔話):ストーリーテリング」について、資料を読んで確かめておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の気付きや考えも書いておくこと															
	13	言葉を育み、想像を広げる児童文化財を用いた実践(2)—紙芝居・ペープサート等 授業内小テスト④ 予習:(20分)「紙芝居・ペープサート等」について、資料等を読んで確かめておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の気付きや考えも書いておくこと															
	14	言葉を育み、想像を広げる児童文化財を用いた実践(3)—絵本の読み聞かせ 授業内小テスト⑤ 予習:(20分)「絵本の読み聞かせ」について、資料等を読んで確かめておくこと 復習:(40分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の気付きや考えも書いておくこと															
	15	全授業の振り返りとまとめ:言葉遊び・児童文化財の取り入れ方等 授業内小テストのまとめ⑥ 予習:(20分)教科書の問題(130-148頁)について、正しい答えを確認しておくこと 復習:(40分)「子どもの言葉の発達」と言葉遊び・児童文化財との関係について、自分の考えを400字程度にまとめること															
教科書・教材	田上貞一郎・高荒正子『新訂第2版 保育内容指導「言葉」』(朝文書林) レジユメ																
参考書・ 参考文献等	厚生労働省『保育所保育指針』(フレイベル館) 文部科学省『幼稚園教育要領』(フレイベル館)、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』(フレイベル館) 谷田貝公昭・廣沢満之 編『言葉』(一豊社) 大越和幸他 編著『言葉とふれあい、言葉で育つ』(東洋館出版社)																
履修上の 注意等	教科書の該当部分等、予習して授業に臨む。																
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	小学校教諭として、小学校での授業、教育委員会の研修会や校内研修会の講師、教育書籍の執筆等の実務経験をもとに、幼児期の言葉の発達・獲得に関する理論や知識、技能を理解させ、具体的、実践的に学んでもらう。														

【2506】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
子どもの表現			演習	諏訪才子	2年	後期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
1	15	30		1		○		○	期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト	70
当該科目の キーワード	《知識・理解》		子どもの鑑賞、楽曲解釈、歌唱法、ピアノ伴奏法						授業内活動	発表の自己評価、講評及び振り返りレクソンを行う。						
	《汎用的技能》		歌唱表現、ピアノ伴奏表現、弾き歌い（課題発見・解決）						アクティブラーニングの有無 (内容)	有						
	《態度・志向性》		鑑賞、独唱・重唱、弾き歌い（自律性・協働、多様な音楽文化に対する関心・理解、表現の工夫・創造）													
授業概要	幼児の音楽教育において豊かな感性や表現力を培うためには、「聴く(鑑賞)活動が、その第一歩としてあげられる。「学び」そのものである生活・遊びの中で、日々の活動とともに展開できるように、子どもに聴かせたい鑑賞曲を紹介し、保育者自身が豊かな音楽体験をする。さらに、子どもとともに歌い、聴かせたい生きた演奏曲として童謡・唱歌、子どものオペレッタ・ミュージカル曲の歌唱(重唱を含む)および伴奏の研究を行い、音楽表現の実践的な指導力の育成を目指す。								グループディスカッション、グループワーク、グループ発表							
授業の到達目標	①領域「表現」における音楽表現活動と子どもの発達との関わりについて理解することができる。 ②鑑賞活動は、曲趣や音楽の楽しさを味わいながら音楽的諸要素の基礎を養うことができ、後の音楽活動の基本となる。 ③鑑賞を通して、曲想・楽曲の種類・演奏形態などを感得し、保育者としての音楽観を広げ、子どもの音楽的成長について理解を深めることができる。 ④子どもとともに歌い、聴かせたい童謡・唱歌、子どものオペレッタ・ミュージカル曲の歌唱および伴奏の研究を通して、子どもの音楽活動を支援するための実践力と豊かな音楽表現力を身につける。															
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上となること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「表現」のねらい及び内容 予習:(25分)幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「表現」について下読みする。 復習:(10分)保育における領域「表現」のねらい及び内容についてまとめる。														
	2	子どもの発達と音楽的な遊び 予習:(25分)子どもの発達と音楽的な遊びについて下調べする。 復習:(20分)子どもの発達と音楽的な遊びについてまとめる。														
	3	鑑賞(1)オペレッタ・ミュージカル(DVD映像教材)リチャード・ロジャースミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」前編 予習:(25分)オペレッタ・ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」前半の登場人物やあらすじ、楽曲について調べる。 復習:(20分)「サウンド・オブ・ミュージック」前編の楽曲について、実際に楽譜を確認する。														
	4	鑑賞(2)オペレッタ・ミュージカル(DVD映像教材)リチャード・ロジャースミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」後編 予習:(25分)「サウンド・オブ・ミュージック」後半の登場人物やあらすじ、楽曲について調べる。 復習:(20分)「サウンド・オブ・ミュージック」後編の楽曲について、実際に楽譜を確認する。														
	5	鑑賞(3)オペレッタ・ミュージカル(DVD映像教材)リチャード・ロジャースミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」、ミュージカル作品とその楽曲、子どもの表現について 予習:(25分)子どものためのオペレッタ・ミュージカル作品について調べる。 復習:(20分)ミュージカル作品とその楽曲の鑑賞を通して、子どもの音楽表現についてまとめる。														
	6	保育における鑑賞活動(1)選曲と楽曲の理解 予習:(25分)子どもに聴かせたい質の良い声楽曲・器楽曲について調べ、複数、選曲する。 復習:(20分)鑑賞曲として選択した楽曲について、概要をまとめ、CD等で鑑賞する。														
	7	保育における鑑賞活動(2)声楽曲:モーツァルト「子守歌」、シューベルト「アヴェ・マリア」他 予習:(30分)鑑賞曲として選択した声楽曲について、概要をまとめ、CD等の音源を用意する。 復習:(15分)CD、YouTube等で、その他の声楽曲を鑑賞する。														
	8	保育における鑑賞活動(3)器楽曲:ヴィヴァルディ「四季」、チャイコフスキー組曲「くるみ割り人形」他 予習:(30分)鑑賞曲として選択した器楽曲について、概要をまとめ、CD等の音源を用意する。 復習:(15分)CD、YouTube等で、その他の器楽曲を鑑賞する。														
	9	童謡・唱歌、子どものオペレッタ・ミュージカル曲の歌唱・伴奏法(重唱を含む)(1)選曲 予習:(25分)童謡・唱歌、ミュージカル曲の楽譜から演奏曲をリストアップする。 復習:(10分)選曲した歌唱曲をCD等で鑑賞する。														
	10	童謡・唱歌、子どものオペレッタ・ミュージカル曲の歌唱・伴奏法(重唱を含む)(2)個人指導 歌唱法・伴奏法 予習:(35分)選曲した歌唱曲の読譜(パート練習)と歌詞付き歌唱、伴奏の練習を行う。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して、選曲した歌唱曲の読譜(パート練習)、歌詞付き歌唱、伴奏練習を行う。														
	11	童謡・唱歌、子どものオペレッタ・ミュージカル曲の歌唱・伴奏法(重唱を含む)(3)個人指導 音楽表現 予習:(35分)選曲した歌唱曲の音楽表現を工夫し、歌唱及び伴奏練習を行う。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して、選曲した歌唱曲の練習、伴奏合わせを行う。														
	12	童謡・唱歌、子どものオペレッタ・ミュージカル曲の歌唱・伴奏法(重唱を含む)(4)演奏発表と振り返り 予習:(30分)選曲した歌唱曲を総合的に仕上げる。 復習:(15分)演奏について、自己評価する。														
	13	子どもの歌 弾き歌い(1)歌唱法 予習:(25分)課題曲の歌唱及び伴奏の読譜と練習を行う。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。														
	14	子どもの歌 弾き歌い(2)伴奏法 予習:(25分)課題曲の歌唱及び伴奏練習を行う。 復習:(20分)授業内で指摘を受けたポイントに留意して練習する。														
	15	子どもの歌 弾き歌い(3)演奏発表(歌唱法、伴奏法 まとめ) 予習:(30分)課題曲の歌唱及び伴奏練習を行い、仕上げる。 復習:(15分)課題曲の歌唱及び伴奏について振り返り、自己評価を行う。														
教科書・教材	「日本童謡選集」伊藤玲子編(ドレミ出版社)、「めざせ！ミュージカル・キッズ～歌ってみたい憧れの名曲」清野由紀子編集(ドレミ出版社)															
参考書・参考文献等	「幼稚園教育要領」文部科学省・「保育所保育指針」厚生労働省、必要に応じて資料を配布する。															
履修上の注意等	CD・DVD等で音楽鑑賞をすること。															
実務経験との関連	実務経験の有無	有	中学校等の音楽科の授業における弾き歌いの経験、歌唱・鑑賞活動の指導経験を活かして、弾き歌いの歌唱法・伴奏法、また、歌唱・鑑賞についての指導を行う。													

【2507】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
ピアノ表現Ⅰ			演習	一戸智之	2年	前期	こども発達学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無										
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士											
1	15	30		1		小学校	○		保育士	期末試験	70	有							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》						期末レポート							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	10	有			
	○	—	○	—	—	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	○	授業内提出物	10	有
																	授業内提出物	10	有
																	授業内活動	10	有
																	その他		
																	計	100	
																	フィードバックの方法		
																	毎時間提出を課している実技レッスン記録表は、担当教員が毎週のレッスン時に確認し、返却する。前期末実技試験終了後、教員からの講評と履修者全員で振り返りを行うとともに、個別指導を通じて各々の課題を明確化し、継続的な取り組みを促進する。		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		音楽理論、音楽用語、基礎的なピアノ奏法									アクティブラーニングの有無(内容)	有						
	《汎用的技能》		鍵盤楽器の基礎的表現、伴奏法																
	《態度・志向性》		計画的・協調学習																
授業概要	「ピアノ基礎Ⅰ・Ⅱ」で習得した技能を基盤とし、器楽教育全般の視点から多様な教材を効果的に扱うための実践的な技術を指導する。音楽理論や専門用語、複雑な拍子・リズム形態について体系的に解説するとともに、鍵盤楽器の特性を活かした表現の深化させるための奏法を楽譜によって明示する。また、少人数グループによる協調学習を通じ、学生間の学び合いの機会を多く取り入れ、保育・教育現場で即応できる汎用的な実践力の向上を支援する。なお、実技経験の差異を考慮し、個々の既習レベルに応じたテキスト選定や学習計画への助言を随時行う。											グループワーク、グループディスカッション、協調学習							
授業の到達目標	①バイエルピアノ教則本88番までの技術および基礎的なピアノ奏法を修得し、実技試験において、楽曲の意図に即した適切な演奏ができる。 ②レッスン記録表の継続的な活用を通じて、自らの演奏課題を客観的に分析し、改善に向けた具体的な練習方法を立案できる。 ③授業への予習・復習を習慣化することで、各課題曲の技術的ポイントを事前に把握し、計画的な技能向上を図ることができる。 ④幼児・児童期における音楽教育の目的と意義を理解し、自身の豊かな感性に基づいた音楽表現を将来の指導実践へと結びつけることができる。																		
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																	
	1	授業の目的、概要と計画、これまで学修したポイントを明確化し共有する 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.59、60を練習する。 復習:(80分)反復記号の注意しながらト音記号とヘ音記号を正しく読譜できるようにする。																	
	2	同音連打の運指、指まがとぎと指くぐりについて 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.61、ハ調長音階、№.65を練習する。 復習:(80分)指のポジションとフォームに注意しながら練習する。																	
	3	6度音程と3度音程の重音 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.66～71を練習する。(ト調長音階を除く) 復習:(80分)重音の奏法を理解する。指のポジションとフォームに注意しながら練習する。																	
	4	調号と臨時記号について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.74を練習する。 復習:(80分)臨時記号の意味を理解する。クレシェンド、デクレシェンド、アクセント等に注意しながら練習する。																	
	5	三連符の奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.74、77を練習する。 復習:(80分)三連符の奏法を理解する。正しいテンポとリズムで三連符を演奏できるように練習する。																	
	6	スタッカートとタイの混合 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.77、79を練習する。 復習:(80分)16小節目のスタッカートとタイを同時に演奏する箇所注意しながら練習する。																	
	7	前期中間実技試験に向けてのリハーサルおよび注意事項の確認 予習:(90分)これまで学修したピアノ奏法のポイントについて確認・整理し、試験課題曲に生かしながら練習する。 復習:(70分)各グループで試験を想定したリハーサルを行い、協調学習を通して相互に課題を明確化し共有する。																	
	8	前期中間実技試験及び振り返り(最低到達目標はバイエルピアノ教則本79番とする) 予習:(90分)試験課題曲について改善すべき点を明確化し、弾き直しがないように十分練習する。 復習:(70分)グループワークを通して試験課題曲の演奏を振り返り、改善点を洗い出し、第9回目以降の到達目標及び練習計画を立てる。																	
	9	同音連打の練習、弱起の曲の理解 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.81を練習する。 復習:(80分)同音連打では運指番号に注意する。弱起の曲について理解する。																	
	10	同音連打の練習、弱起の曲の理解 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.81を練習する。 復習:(80分)同音連打では運指番号に注意する。弱起の曲について理解する。																	
	11	音階的音型 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.83を練習する。 復習:(80分)ト音記号とヘ音記号が混在していることから、鍵盤の位置に注意する。以前学修した重音の奏法のポイントを確認する。																	
	12	全音符から16分音符までの練習 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.86を練習する。 復習:(80分)16分音符の意味と奏法を理解する。メトロノームを活用し、正しいリズムとテンポで演奏できるようにする。																	
	13	スキップリズムの奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.88を練習する。 復習:(80分)スキップリズムについて理論的に理解し、正しい奏法で演奏できるようにする。																	
	14	テヌートとマルカートの奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.88を練習する。 復習:(80分)№.88はこれまで学修した内容が網羅されていることから、正確に読譜し表現力豊かな演奏を目指す。																	
	15	前期末実技試験に向けてのリハーサル及び注意事項の確認(最低到達目標はバイエルピアノ教則本88番とする) 予習:(90分)これまで学修したピアノ奏法のポイントを確認・整理し、試験課題曲に生かしながら練習する。 復習:(70分)各グループで試験を想定した発表会を行い、グループディスカッションを通して改善すべき点を明確化し共有する。																	
教科書・教材	入門者及び初心者には「全訳バイエルピアノ教則本」(全音楽譜出版社)を使用していくが、すでにバイエル終了程度の実力を有する受講者は、以下の教材を各人の演奏レベルに応じて選曲し、より高度な汎用的ピアノ技能の獲得を目指す。また、適宜、オリジナルの技能習得テキストや歌唱教材を併用し、グループ学習を促進する。主要テキスト:「全訳バイエルピアノ教則本」「ブルグミュラー25の練習曲」「ソナチネアルバムⅠ」「モーツァルトソナチネアルバムⅠ・2」(以上、全音楽譜出版社)																		
参考書・参考文献等	「この一冊でわかるピアノ実技と楽典 増補版」																		
履修上の注意等	①使用テキストは、初回の授業の中で各人との相談によって決定します。 ②個別指導のため各回の内容については、各人の学修状況により変更する場合があります。																		
実務経験との関連	実務経験の有無	有	全日本ピアノ指導者協会における指導および専属ピアニストとしての実務経験を有する教員が、ピアノの基礎的な知識・技能や教材伴奏の手法について実演を交えた指導を行う。また、歌唱指導等の経験に基づき、児童の歌唱表現を引き出すための具体的な技術や、伴奏と歌唱を一体化させた実践的な指導の在り方を提示・助言する。																

【2508】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
ピアノ表現Ⅱ			演習	一戸智之	2年	後期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
1	15	30		1		○		□	期末試験	70	有					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》										
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》		
	○	—	○	—	—	○	○	—	○	○	—	—	○		期末レポート	
当該科目の キーワード	《知識・理解》		音楽理論、音楽用語、基礎的なピアノ奏法									毎時間提出を課している実技レッスン記録表は、担当教員が毎週のレッスン時に確認し、返却する。前期末実技試験終了後、教員からの講評と履修者全員で振り返りを行うとともに、個別指導を通じて各々の課題を明確化し、継続的な取り組みを促進する。				
	《汎用的技能》		鍵盤楽器の基礎的表現、伴奏法													
	《態度・志向性》		計画的、協調学習													
授業概要	「ピアノ基礎Ⅰ・Ⅱ」で習得した技能を基盤とし、器楽教育全般の視点から多様な教材を効果的に扱うための実践的な技術を指導する。音楽理論や専門用語、複雑な拍子・リズム形態について体系的に解説するとともに、鍵盤楽器の特性を活かした表現の深化させるための奏法を奏法によって明示する。また、少人数グループによる協調学習を通じ、学生間の学び合いの機会を多く取り入れ、保育・教育現場で即応できる汎用的な実践力の向上を支援する。なお、実技経験の差異を考慮し、個々の既習レベルに応じたテキスト選定や学習計画への助言を随時行う。											グループワーク グループディスカッション				
授業の到達目標	①バイエルピアノ教則本104番までの技術および基礎的なピアノ奏法を修得し、実技試験において、楽曲の意図に即した適切な演奏ができる。 ②レッスン記録表の継続的な活用を通して、自らの演奏課題を客観的に分析し、改善に向けた具体的な練習方法を立案できる。 ③授業への予習・復習を習慣化することで、各課題曲の技術的ポイントを事前に把握し、計画的な技能向上を図ることができる。 ④幼児・児童期における音楽教育の目的と意義を理解し、自身の豊かな感性に基づいた音楽表現を将来の指導実践へと結びつけることができる。															
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	右手の8分の6拍子のレガートとスタッカートの奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.90を練習する 復習:(80分)運指を正確に読み、全体としてスタッカートとレガートを意識しながら演奏できるようにする。														
	2	三連符の奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.92を練習する 復習:(80分)右手スラーのかかり方に注意する。左手三連符は滑らかにリズムを正しく弾けるようにする。														
	3	6度音程の重音とタイの奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.95を練習する 復習:(80分)重音が速くならないよう注意する。左手のスラーとタイに気を付けて練習する。														
	4	左手の16分音符の練習 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.95を練習する 復習:(80分)手首を十分に脱力し、ピアノとフォルテ、クレシェンドを意識しながらアレグレットのテンポで弾けるよう練習する。														
	5	16分音符を含む8分の3拍子の奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.96を練習する 復習:(80分)手首や腕に力が入りすぎないよう注意し、左手のスラーとタイを正確に読み、全体が重くならないよう練習する。														
	6	16分音符を含む8分の3拍子の奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.96を練習する 復習:(80分)右手16分音符の指くぐりと指またぎに注意し、レガートで演奏できるようにする。														
	7	後期中間実技試験に向けてのリハーサル及び注意事項の確認 予習:(90分)これまで学修したピアノ奏法のポイントについて確認・整理し、試験課題曲に生かしながら練習する。 復習:(70分)各グループで試験を想定したリハーサルを行い、協調学習を通して相互に課題を明確化し共有する。														
	8	後期中間実技試験および振り返り(最低到達目標はバイエルピアノ教則本96番とする) 予習:(90分)試験課題曲について改善すべき点を明確化し、弾き直しができるように十分練習する。 復習:(70分)グループワークを通して試験課題曲の演奏を振り返り、改善点を洗い出し、第9回目以降の到達目標及び練習計画を立てる。														
	9	スキップリズムを伴う弱起の曲の練習 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.100を練習する 復習:(80分)左手5の指の保持に気を付ける。														
	10	装飾音(前打音)の奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.100を練習する 復習:(80分)装飾音の奏法を理解する。左右の交差とスタッカートに注意して練習する。														
	11	16分音符の順次進行の練習 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.102を練習する 復習:(80分)左手5の指の保持に気を付ける。														
	12	複付点のリズムの練習 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.102を練習する 復習:(80分)複付点のリズムを正確に演奏できるようにする。														
	13	付点のリズムと16分音符の順次進行の練習 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.104を練習する 復習:(80分)№.104はこれまで学修した内容が網羅されていることから、正確に読譜し表現力豊かな演奏を目指す。														
	14	試験課題曲の個人レッスン 予習:(80分)グループワークを通して試験課題曲を選択し、改善すべきポイントを明確化し演奏に反映させる。 復習:(80分)試験課題曲を暗譜で演奏できるようにする。														
	15	後期末実技試験に向けてのリハーサル及び注意事項の確認(最低到達目標はバイエルピアノ教則本104番とする) 予習:(90分)これまで学修したピアノ奏法のポイントを確認・整理し、試験課題曲に生かしながら練習する。 復習:(70分)各グループで試験を想定したリハーサルを行い、グループディスカッションを通して改善すべき点を明確化し共有する。														
教科書・教材	入門者及び初心者には「全訳バイエルピアノ教則本」(全音楽譜出版社)を使用していくが、すでにバイエル終了程度の実力を有する受講者は、以下の教材を各人の演奏レベルに応じて選曲し、より高度な汎用的ピアノ技能の獲得を目指す。また、適宜、オリジナルの技能修得テキストや歌唱教材を併用し、グループ学習を促進する。主要テキスト:「全訳バイエルピアノ教則本」「ブルグミュラー25の練習曲」「ソナチネアルバム」「モーツァルトソナチネアルバム1・2」(以上、全音楽譜出版社)															
参考書・参考文献等	「この一冊でわかるピアノ実技と楽典 増補版」															
履修上の注意等	①使用テキストについては、初回の授業の中で各人との相談によって決定します。 ②個別指導のため各回の内容については、各人の学修状況により変更する場合があります。															
実務経験との関連	実務経験の有無	有	全日本ピアノ指導者協会における指導および専属ピアニストとしての実務経験を有する教員が、ピアノの基礎的な知識・技能や教材伴奏の手法について実演を交えた指導を行う。また、歌唱指導等の経験に基づき、児童の歌唱表現を引き出すための具体的な技術や、伴奏と歌唱を一体化させた実践的な指導の在り方を提示・助言する。													

【2509】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科						
造形表現A			演習	工藤千華	2年	前期	こども発達学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無				
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士					
1	15	30		1			○	□	期末試験	無			
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート	無	
											授業内小テスト	無	
											授業内提出物	70	有
											授業内活動	30	有
									その他				
									計	100			
									フィードバックの方法				
									○				
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		造形的な発達と支援のあり方								制作時間の確保・技術面の指導		
	≪汎用的技能≫		非言語系によるコミュニケーション能力										
	≪態度・志向性≫		造形表現を通じたチームワーク								アクティブラーニングの有無(内容)		有
授業概要	造形活動を通して自分自身の世界を広げ、自由に「表現」する楽しさを理解できるよう指導する。幼児造形教育の意義や子どもの造形表現の発達手特徴やその理解の方法について説明する。また、保育者の役割や援助の仕方について具体例を挙げながら解説する。									個人の造形活動、グループにおける共同活動			
授業の到達目標	表現(造形)では、領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達およびそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける。												
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。												
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容											
	1	造形教育の意義と幼児期の造形に関する発達を理解する。 予習:(分) 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。											
	2	①エリックカール 色の魔法を学ぼう。「エリックの色紙」づくり 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。											
	3	①エリックカール 色の魔法を学ぼう。「エリックの色紙」づくり 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。											
	4	②身近な素材「紙」について学ぼう。「貼り絵」、製作 予習:(分)15 製作のまとめを行う。 復習:(分)15 授業内容について事前に学習する。											
	5	③造形の基礎知識を学ぼう。絵具類・筆の活用法を知り応用する術を学ぶ「デカルコマニー」「糸引き絵」 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。											
	6	③造形の基礎知識を学ぼう。絵具類・筆の活用法を知り応用する術を学ぶ「吹き絵」「流し絵」「シャボン玉絵」 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。											
	7	④素材についての理解を深める。フェルトペン・クレヨン・パスの活用法を知り応用する術を学ぶ「フロッタージュ」 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。											
	8	④素材についての理解を深める。フェルトペン・クレヨン・パスの活用法を知り応用する術を学ぶ「スクラッチ」 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。											
	9	⑤造形あそび「スタンプ」による教材研究。たんぼ 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。											
	10	⑤造形あそび「スタンプ」による教材研究。ステンシル・手型足型 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。											
	11	⑥身近な素材による教材研究。「紙コップ」による人形劇づくり、グループでの話し合い。 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 次の授業に向けてアイデアをまとめる。											
	12	⑥身近な素材による教材研究。「紙コップ」による人形劇づくり、対話型鑑賞法 予習:(分)30 グループ内でのアイデアをまとめる必要材料を集める。 復習:(分)15 授業内容の振り返りを行う。											
	13	⑥身近な素材による教材研究。「紙コップ」による人形劇づくり、対話型鑑賞法 予習:(分)30 グループ内でのアイデアをまとめる必要材料を集める。 復習:(分)15 授業内容の振り返りを行う。											
	14	⑥身近な素材による教材研究。発表会 予習:(分)30 グループ内でのアイデアをまとめる必要材料を集める。 復習:(分)15 授業内容の振り返りを行う。											
	15	⑥⑥身近な素材による教材研究。「ポップアップカード」を作ろう。 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。											
教科書・教材	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』												
参考書・参考文献等	「生活事例からはじめる造形表現」青踏社・「保育をひろく造形表現」萌文書林・随時必要に時応じて資料配布する。												
履修上の注意等	絵の具セット、クレパス、画用紙を持参する。衣服が汚れる場合もあります、トレーニングウェア、エプロン着用での受講可												
実務経験との関連	実務経験の有無	有	保育士として私立保育園に勤務、保育所における造形指導の実務を行う。実務経験をもとに造形に関する知識や技能等を指導する。										

[2510] 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
造形表現B			演習	工藤千華	2年	後期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士						
1	15	30			1		小学校	○	□	期末試験					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシ 論理的 思考力 問題 解決力				≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リー ダー シップ 倫理 観 社会 的 責任 生涯 学 習 力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート			
												授業内小テスト	無		
													授業内提出物	60	有
													授業内活動	40	有
											その他				
											計	100			
フィードバックの方法															
当該科目の キーワード	≪知識・理解≫ 造形的な発達と支援のあり方										制作所間の確保・技術面の指導				
	≪汎用的技能≫ 非言語系によるコミュニケーション能力														
	≪態度・志向性≫ 造形表現を通じたチームワークと計画性										アクティブラーニングの有無 (内容)	有			
授業概要	幼児や児童の表現意欲と心身の発達課題について解説し、段階に応じた造形活動の在り方を説明する。実技活動を通して、自分の手でものを生み出す喜びを実感できるようにする。実践的創作活動を通して、ものづくりの楽しさや創造する過程の大切さを理解できるように指導する。										個人の造形活動、グループにおける共同活動				
授業の 到達目標	絵本作業を通して、物語を造形表現へと発展させる力を身につけ、造形活動の意義を理解する。素材や用具の特性を生かしながら、自ら表現する楽しさや創造する過程の大切さを体験的に理解する。														
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。														
授業計画 (予習、復習の内容 内容・時間含む)	回	内 容													
	1	幼児や児童教育における安全と創造的な活動の意義について。表現活動におけるあり方について。 予習:(分) 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。													
	2	①絵本作り。作りたい絵本をイメージする。 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。													
	3	①絵本作り。絵本づくりの素材・技法研究。 予習:(分)30 次の授業に向けてアイデアをまとめる。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。													
	4	①絵本作り。作りたい絵本の具体的構想。 予習:(分)30 次の授業に向けてアイデアをまとめる。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。													
	5	①絵本作り。作りたい絵本の具体的構想。 予習:(分)30 次の授業に向けてアイデアをまとめ必要な材料を集めておく。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。													
	6	①絵本作り。試作と応用。 予習:(分)15 次の授業に向けてアイデアをまとめ必要な材料を集めておく。 復習:(分)15 授業内容の振り返りを行う。													
	7	①絵本作り。試作と応用。 予習:(分)30 次の授業に向けてアイデアをまとめ必要な材料を集めておく。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。													
	8	①絵本作り。完成。 予習:(分)30 次の授業に向けてアイデアをまとめる。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。													
	9	「ポップアップカード」「手作り絵本」の発表と鑑賞会。 予習:(分)30 次の授業に向けてアイデアをまとめる。 復習:(分)15 授業内容の振り返りを行う。													
	10	②「パネルシアター」グループ別にオリジナルコンセプトを検討する。対象の幼児に何をたえらるか。 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。													
	11	②「パネルシアター」対象の幼児へのテーマ・内容・デザインの検討、アイデアスケッチ 予習:(分)15 次の授業に向けてアイデアをまとめる。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。													
	12	②「パネルシアター」共同製作なので分担して構成・組み立てる。 予習:(分)15 次の授業に向けてアイデアをまとめる。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。													
	13	②「パネルシアター」共同製作なので分担して組み立てる。 予習:(分)15 次の授業に向けてアイデアをまとめる。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。													
	14	②「パネルシアター」発表会のシナリオ練習 完成 予習:(分)15 次の授業に向けてアイデアをまとめる。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。													
	15	鑑賞会 グループ発表会とまとめ 予習:(分)15 次の授業に向けてアイデアをまとめる。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。													
教科書・教材	『幼稚園教育要領』文部科学省『保育所保育指針』厚生労働省														
参考書・ 参考文献等	「生活事例からはじめる造形表現」青踏社・「絵本をつくりたい人へ」玄光社・「ときめきパネルシアターみんなあつまれパネルのまに」東洋文化出版 随時必要に応じて資料配布する。														
履修上の 注意等	絵の具セット、クレパス、画用紙を持参する。衣服が汚れる場合があります、トレーニングウェア、エプロン着用での受講可。														
実務経験との 関連	実務経験の有無	有	保育士として私立保育園に勤務、保育所における造形指導の実務を行う。実務経験をもとに造形に関する知識や技能等を指導する。												

【2511】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
子どもの運動あそび I			演習	高橋正行	2年	前期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士						
1	15	30		1			小学校	○	□	期末試験					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート			
	○	—	—	○	—	—	—	○	○	○		○	○	○	○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		運動発達・運動遊び								期末レポート				
	≪汎用的技能≫		課題発見力・主体性・能動的言動								授業内小テスト		60	有	
授業概要	≪態度・志向性≫		自主的活動・自己表現・協同的活動								授業内提出物				
			幼児期の運動遊びは、幼児の心身の発達において非常に重要である。本授業を通して運動遊びの意義を理解するとともに、体を使った運動遊び等を題材に運動遊びを指導するために必要な知識や技能、展開方法を習得する。また実際に運動遊びの指導を立案したり、模擬保育として実践したりすることを通して運動遊びの実践的指導力を身に付ける。								授業内活動		40	有	
授業の到達目標											その他				
			1、幼児の運動遊びに興味関心をもち、運動発達に即した身体活動に取り組むために必要な基礎理論と技術を習得する。 2、自らが積極的に運動遊びを実践し、その体験や活動を通して、保育者の援助や役割について知る。 3、幼児の発達と遊びの系列についての知識と技能を、安全を考慮しながら身につける。								計		100		
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。										フィードバックの方法				
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										アクティブラーニングの有無(内容)		有	
	1	授業の概要(目的・計画・履修上の留意事項・評価)について解説する。 予習:(15分)「幼児期運動指針」に目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
	2	運動遊びの指導法について 予習:(15分)テキストに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
	3	表現力を育てる運動遊び①(ラジオ体操を楽しもう) 予習:(15分)ラジオ体操第一の動きを振り返る。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
	4	表現力を育てる運動遊び②(オリジナル体操をつくる) 予習:(15分)オリジナル体操を創作するにあたり、選曲の候補を考えておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
	5	表現力を育てる運動遊び③(オリジナル体操をつくらう) 予習:(15分)創作した体操の動きを吟味する。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
	6	ジャンケンを生かした運動遊び 予習:(15分)テキストに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
	7	移動を伴う運動遊び(鬼ごっこ、リレー) 予習:(15分)テキストに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
	8	用具を使った運動遊び①(長縄) 予習:(15分)テキストに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
	9	用具を使った運動遊び②(短縄、フラフープ) 予習:(15分)テキストに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
	10	用具を使った運動遊び③(ボール) 予習:(15分)テキストに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
	11	移動遊具を使った動遊び①(マット) 予習:(15分)テキストに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
	12	移動遊具を使った動遊び②(平均台、跳び箱) 予習:(15分)テキストに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
	13	水と触れ合う運動遊び 予習:(15分)テキストに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
	14	“ミニ運動会”の計画、準備 予習:(15分)テキストに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
	15	“ミニ運動会”をしよう 予習:(15分)テキストに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。													
教科書・教材	楽しく遊んで体づくり! 幼児の運動あそび「幼児期運動指針」に沿って/吉田伊津美編著/チャイルド本社/2015年														
参考書・参考文献等	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」など														
履修上の注意等	子どもの心情を理解し、常に子どもの目線で取り組むこと。安全に運動するために適した服装や髪型(長い髪の方は髪を結う)で受講すること。運動に適した室内用シューズを準備する。外の活動の際は運動に適したシューズを用意する(前もって指示する)。														
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校教諭として低学年体育を指導した経験を活かして運動遊びについての講義と実技を行う。												

[2512] 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
子どもの運動あそびⅡ			演習	高橋正行	2年	後期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士						
1	15	30		1		○		□	期末試験					
学術力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適した課題を解決する能力》
	○	—	○	—	—	○	○	○	—	—	—	○	○	授業内提出物
														授業内活動 40 有
														その他
														計 100
														フィードバックの方法
当該科目の キーワード	《知識・理解》		運動遊び・集団遊び			《態度・志向性》			授業内小テスト及び授業内活動については都度評価をし、賞賛、激励、助言を行う。					
	《汎用的技能》		自己表現・課題発見力						アクティブラーニングの有無 (内容)					
	《態度・志向性》		受容力・協同的意識						有					
授業概要	子どもの運動あそびⅠで学修した幼児の運動遊びに関する知識、技能をもとに、幼児の発達段階や実態に応じた効果的な指導法を習得する。運動遊びの指導案を基に模擬保育を行うことにより、幼児の運動遊びを豊かに展開するために必要な実践力を習得する。													
授業の 到達目標	1、子どもの運動遊びⅠの基礎理論をもとに遊びの展開法を理解し実践・検討をすることで、幼児期の運動あそびに興味・関心をさらに高める。 2、遊びの実践検討から、進んで運動する子どもを育てる保育者の援助の仕方をも身に付ける。 3、子どもと保育者双方の目線から、援助の仕方を共有発信できるような創意工夫ができる。													
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容												
	1	授業の概要(目的・計画・履修上の留意事項・評価)について解説する。 予習:(15分)テキストに目を通し、子どもの運動遊びⅠの学修について振り返る。 復習:(30分)テキストやノートをもとに授業の内容を振り返る。												
	2	身近な道具を使った運動遊び①(新聞紙、レジ袋、スズランテープなど) 予習:(15分)テキストやウェブサイトを目を通しておく。 復習:(30分)テキストやウェブサイト、ノートをもとに授業の内容を振り返る。												
	3	身近な道具を使った運動遊び②(牛乳パックや紙コップで遊び道具を作って遊ぶ) 予習:(15分)テキストやウェブサイトを目を通しておく。 復習:(30分)テキストやウェブサイト、ノートをもとに授業の内容を振り返る。												
	4	身近な道具を使った運動遊び③(ペットボトルを使って遊ぶ) 予習:(15分)テキストやウェブサイトを目を通しておく。 復習:(30分)テキストやウェブサイト、ノートをもとに授業の内容を振り返る。												
	5	昔から伝わる運動遊び①(投げる力につながる昔遊び) 予習:(15分)テキストやウェブサイトを目を通しておく。 復習:(30分)テキストやウェブサイト、ノートをもとに授業の内容を振り返る。												
	6	昔から伝わる運動遊び②(昔遊びをアレンジしよう) 予習:(15分)テキストやウェブサイトを目を通しておく。 復習:(30分)テキストやウェブサイト、ノートをもとに授業の内容を振り返る。												
	7	インクルーシブスポーツ①(アキュラシー) 予習:(15分)ウェブサイトを目を通しておく。 復習:(30分)ウェブサイト、ノートをもとに授業の内容を振り返る。												
	8	インクルーシブスポーツ②(ポッチャ、ラダーゲッター) 予習:(15分)ウェブサイトを目を通しておく。 復習:(30分)ウェブサイト、ノートをもとに授業の内容を振り返る。												
	9	インクルーシブスポーツ③(ポッチャ、ラダーゲッター) 予習:(15分)ウェブサイトを目を通しておく。 復習:(30分)ウェブサイト、ノートをもとに授業の内容を振り返る。												
	10	模擬保育の計画 予習:(15分)テキストやウェブサイトを目を通しておく。 復習:(30分)テキストやウェブサイト、ノートをもとに授業の内容を振り返る。												
	11	指導案の作成 予習:(15分)模擬保育のおおよそのイメージをもつ。 復習:(30分)作成した指導案を見直す。												
	12	模擬授業① 予習:(15分)テキストやウェブサイトを目を通しておく。 復習:(30分)自他の模擬保育について振り返る。												
	13	模擬授業② 予習:(15分)テキストやウェブサイトを目を通しておく。 復習:(30分)自他の模擬保育について振り返る。												
	14	模擬授業③ 予習:(15分)テキストやウェブサイトを目を通しておく。 復習:(30分)自他の模擬保育について振り返る。												
15	本演習のまとめ(運動遊びの意義・価値・教育的効果を考察する) 予習:(15分)これまでの学修について振り返る。 復習:(30分)テキストやノートをもとにこれまでの本演習での取組を振り返る。													
教科書・教材	幼児の運動あそび「幼児期運動指針」に沿って／吉田伊津美編著／チャイルド本社／2015年(前期に購入済)													
参考書・ 参考文献等	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」など													
履修上の 注意等	子どもの心情を理解し、常に子どもの目線を取り組むこと。安全に運動するために適した服装や髪型(長い髪の方は髪を結う)で受講すること。運動に適した室内用シューズを準備する。外部から教員を借用して行う回があり、授業の予定を変更することもある。													
実務経験との 関連	実務経験の有無	有	小学校教諭として低学年体育を指導した経験を活かして運動遊びについての講義と実技を行う。											

【2601】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
保育内容総論			演習	安川由貴子	2年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士									
2	15	30		2		○	○		期末試験	60	無					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					期末レポート				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	○	○	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—	授業内提出物	15	無
														授業内提出物	25	有
														その他		
														計	100	
														フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		幼児期の教育・保育に関わる基本的知識の理解									コメント・ペーパーの内容や質問は 授業内で適宜共有し、学びを深める 手立てとする。				
	《汎用的技能》		保育を展開していく力													
	《態度・志向性》		保育内容の理解と保育者としての資質の向上										アクティブラーニングの有無 (内容)	有		
授業概要	幼児期の教育・保育において求められる保育の全体構造と保育内容の基本的な考え方について学ぶために、解説や視聴覚教材の活用、グループ討議を行う。また、保育の基本を踏まえて、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程(計画・実践・観察・記録・評価・改善)につなげた理解や保育の多様な展開についての理解が深まるよう、解説やグループ討議を行う。											グループディスカッション、発表				
授業の 到達目標	1 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「ねらい及び内容」の関連を理解し、各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解し考察できる。 2 保育内容の基本的な考え方を、保育内容の歴史の変遷を踏まえつつ、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程につなげて理解し、主体的・対話的で深い学びにつながるような保育を構想する方法を身に付けている。															
単位認定の要件	到達目標に対し、総合的に評価して合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	保育所、幼稚園、認定こども園の制度・目的・機能の再確認、保育所の保育の実際(視聴覚教材) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	2	幼稚園、認定こども園の保育の実際(視聴覚教材) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	3	保育内容の歴史の変遷 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	4	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく保育の全体構造と保育内容の理解①総則 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	5	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく保育の全体構造と保育内容の理解②ねらいと内容 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、今後の自らの保育者としての関わりについて考え、ミニレポートを作成すること。														
	6	子どもの発達や生活に即した保育内容の基本的な考え方及び指導案の構成の理解と作成 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	7	養護及び教育が一体的に展開する保育(視聴覚教材の活用を含む) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	8	生活や発達の連続性を考慮した保育(視聴覚教材の活用を含む) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	9	子どもの主体性を尊重する保育 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	10	環境を通して行う保育(視聴覚教材の活用を含む) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	11	生活や遊びによる総合的な保育 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	12	個と集団の発達を踏まえた保育 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	13	家庭、地域、小学校との連携を踏まえた保育(視聴覚教材の活用を含む) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	14	保育の多様な展開(長時間保育、特別な配慮を要する子どもの保育、多文化共生の保育) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。														
	15	模擬保育及び模擬保育の振り返りと改善の視点 予習:(90分)指導案を班毎に作成し、模擬保育の流れを確認する。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、保育内容の理解を深め、実践に向けての自己課題を見つけていくこと。														
教科書・教材	レジュメ 資料を配布する。厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館、文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館。															
参考書・ 参考文献等	授業内に適宜紹介する。															
履修上の 注意等	知識を身に付けるだけでなく、よりよい保育を展開していくために、どのような視点や実践力が必要かを考えながら受講すること。グループワークの機会にも、積極的な参加を期待します。															
実務経験との 関連	実務経験の有無	無														

【2603】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
人間関係の指導法			演習	吉田裕美子	2年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無						
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士									
2	15	30		2		○	○		期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》 期末レポート 50 有 授業内小テスト 授業内提出物 30 有 授業内活動 20 有 その他 計 100 フィードバックの方法					
	○	—	—	○	—	—	—	—	—	○		○	○	○	○	—
	≪知識・理解≫ 各年齢段階の人間関係の理解		≪汎用的技能≫ 事例検討、ロールプレイ、保育カンファレンス		≪態度・志向性≫ グループワーク		ノートやレポートなどの提出物にコメントをつけて返却し、授業中に解説する。			アクティブラーニングの有無(内容)		有				
	授業概要 実践場面における具体的な事例を通して、乳幼児期にわたる人との関わりの意味について個人の考えをまとめたり、グループで討議する中で探っていく。			グループディスカッション、グループワーク												
授業の到達目標		幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「人間関係」のねらいと内容を理解する。乳幼児期における人との関わりの発達を踏まえ、幼稚園や保育所における人間関係の大切さや、保育者の援助について理解する。子どもと人間関係を指導するスキルを向上させるために、 ①乳幼児の人間関係の発達プロセスについて理解できる。 ②グループワークに参加し、人間関係の指導に関する意見交換を行い、他者の考えを知る。 ③他者との意見交換を通じて、様々な子どもの人間関係を支援・対応するための着眼点を理解する。														
単位認定の要件		到達目標①～③の合計が60点以上であること														
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容													
		1	保育内容「人間関係」をめぐる視点 予習:(30分) 領域「人間関係」の「ねらい及び内容」の取扱い 復習:(15分) 人間関係をめぐる問題と領域「人間関係」の意義													
		2	領域「人間関係」と保育の実践①～乳児保育に関わるねらい及び内容～ 予習:(30分) 事例検討 復習:(15分) 0～2歳児における人との関わりの発達と保育者の援助													
		3	領域「人間関係」と保育の実践②～3歳以上児の保育に関わるねらい及び内容～ 予習:(30分) 事例検討 復習:(15分) 3～5歳児における人とのかかわりの発達と保育者の援助													
		4	遊びの中で育つ人とのかかわり①～遊びの意義と重要性「保育における遊びの大切さ」「遊びと仲間関係」 予習:(30分) 遊びや生活の中で育む人と関わる力 復習:(15分) 遊びの中で友達とつながるおもしろさを探求する。													
		5	遊びの中で育つ人とのかかわり②～けんかやいざこざから生まれるもの「相手の気持ちを考える」「協同性の育ち」 予習:(30分) 事例検討 復習:(15分) 事例を通して学ぶ保育者の関わり													
		6	人とのかかわりを育てる保育の実践 「保育の中で気になる子どもの姿」 予習:(30分) 事例検討 復習:(15分) 事例を通して学ぶ保育者の関わり													
		7	人とのかかわりが難しい子どもへの支援 「園生活に馴染めない子の育ち」「悩む親を支える」 予習:(30分) 事例検討 復習:(15分) 事例を通して家庭との連携について学ぶ													
		8	保育における個の育ちと集団の育ちについて「集団の中での役割と責任・道徳性のめざえ」 予習:(30分) 集団の種類 復習:(15分) 個から集団の育ち合いのプロセス													
		9	家族や地域とのかかわりと育ち 予習:(30分) 家族や地域の中で生まれる子ども同士の関わり 復習:(15分) 地域で支える子育て支援													
		10	領域「人間関係」と小学校とのつながり 予習:(30分) 小学校との連携・接続 復習:(15分) 幼・保・認と小の連携及び接続に求められるもの													
		11	子ども理解から保育をつくる 予習:(30分) 模擬保育について 復習:(15分) 模擬保育についての手順や流れの把握、準備の確認をする。													
		12	領域の相互の関連性と保育展開①～指導計画の意義・作成・実践例～「3歳児の指導計画と実践」 予習:(30分) 模擬保育3歳児について 復習:(15分) 模擬保育についての反省と振り返り、講評。													
		13	領域の相互の関連性と保育展開②～指導計画の意義・作成・実践例～「4歳児の指導計画と実践」 予習:(30分) 模擬保育4歳児について 復習:(15分) 模擬保育についての反省と振り返り、講評。													
		14	領域の相互の関連性と保育展開③～指導計画の意義・作成・実践例～「5歳児の指導計画と実践」 予習:(30分) 模擬保育5歳児について 復習:(15分) 模擬保育についての反省と振り返り、講評。													
		15	領域「人間関係」の現代的課題を考える 予習:(30分) 演習の振り返りとその先の課題 復習:(15分) 筆記試験													
教科書・教材		演習 保育内容 人間関係—基礎的事項の理解と指導法—、建帛社、田代和美・榎本真実														
参考書・参考文献等		「保育所保育指針」(平成29年告示)、「保育所保育指針解説書」厚生労働省編														
履修上の注意等		グループワークに積極的に参加し、他者と議論を行うこと。議論した内容や各班の意見を整理し、よくまとめておくこと。														
実務経験との関連		実務経験の有無	無													

【2605】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科						
言葉の指導法			演習		澤村美千代		2年	後期	こども発達学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無					
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士						
2	15	30			2		小学校	幼稚園	保育士						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末試験		
			○	—	—	○	—	○	—	—	○		○	—	期末レポート
当該科目のキーワード			≪知識・理解≫ 言葉の発達		≪汎用的技能≫ 言葉の環境・援助			≪態度・志向性≫ 伝え合う				①時間内に教師が答えを発表し、学生に自己採点させる。 ②提出物等の結果は、ICTの活用や口頭により、全体に解説する。	授業内小テスト	20	有
			○	—	—	○	—	○	—	—	○		○	—	授業内提出物
授業概要			領域「言葉」のねらい及び内容について、背景となる専門領域と関連させて理解を深めたり、指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付けたりするため、主体的・対話的で深い学びが実現するように、模擬保育、協議のほか、ICTの活用を積極的に取り入れる。							演習、個別・ペア・グループワーク学習等					
授業の到達目標			①幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。 ②幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な保育場面を構想する方法を身に付ける。												
単位認定の要件			到達目標①～②の合計が60点以上であること。												
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容											
			1	保育における言葉とは—幼稚園教育の基本と領域「言葉」のねらい及び内容 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確かめておくこと 復習:(60分)授業で学習したポイントを箇条書きで整理するとともに、気付きや考えもまとめること											
			2	子どもの言葉の発達過程(1)—言葉を生む基礎と話し言葉の発達の道筋 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確かめておくこと 復習:(60分)授業で学習したポイントを箇条書きで整理するとともに、気付きや考えもまとめること											
			3	子どもの言葉の発達過程(2)—書き言葉の発達の道筋と小学校「国語科」との関係・幼小連携を目指した保育 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確かめておくこと 復習:(60分)授業で学習したポイントを箇条書きで整理するとともに、気付きや考えもまとめること											
			4	言葉を育む環境構成と援助(1)—話す・聞く意欲を持たせるための援助 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確かめておくこと 復習:(60分)授業で学習したポイントを箇条書きで整理するとともに、気付きや考えもまとめること											
			5	言葉を育む環境構成と援助(2)—日常生活に必要な言葉を習得させるための援助 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確かめておくこと 復習:(60分)授業で学習したポイントを箇条書きで整理するとともに、気付きや考えもまとめること											
			6	言葉を育む環境構成と援助(3)—言葉のすれ違い、伝え合いのもどかしさ等への援助(具体的な保育場面を想定した指導案作成) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確かめておくこと 復習:(60分)授業で学習したポイントを箇条書きで整理するとともに、気付きや考えもまとめること											
			7	言葉を豊かにする環境構成と援助(1)—言葉で伝え合う喜びを味わわせるための援助(模擬保育の教材研究・読み聞かせる絵本の選択と練習①) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確かめておくこと 復習:(60分)授業で学習したポイントを箇条書きで整理するとともに、気付きや考えもまとめること											
			8	言葉を豊かにする環境構成と援助(2)—文字等で伝える楽しさを味わわせるための援助(模擬保育の教材研究・読み聞かせる絵本の選択と練習②) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確かめておくこと 復習:(60分)授業で学習したポイントを箇条書きで整理するとともに、気付きや考えもまとめること											
			9	言葉を育てる児童文化と地域文化(1):言葉を育てる児童文化財—絵本・物語・紙芝居等の生かし方 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確かめておくこと 復習:(60分)授業で学習したポイントを箇条書きで整理するとともに、気付きや考えもまとめること											
			10	言葉を育てる児童文化と地域文化(2):仲間を育てる文化財—地域の暮らしとあそび文化 授業内小テスト① 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確かめておくこと 復習:(60分)授業で学習したポイントを箇条書きで整理するとともに、気付きや考えもまとめること											
			11	言葉の育ちにかかわる諸問題—子どもの言葉を育む保育の実践①—模擬保育の実施(絵本の読み聞かせ等) 授業内小テスト② 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を読んで、確かめておくこと 復習:(60分)授業で学習したポイントを箇条書きで整理するとともに、気付きや考えもまとめること											
			12	子どもの言葉を育む保育の実践②—模擬保育の実施(絵本の読み聞かせ等) 授業内小テスト③ 予習:(30分)模擬保育の発表者は、事前の準備、練習をしっかりと行うこと 復習:(60分)自他の模擬保育を比較して、気付いたこと・思ったことを箇条書きにもまとめること											
			13	子どもの言葉を育む保育の実践③—模擬保育の実施(絵本の読み聞かせ等) 授業内小テスト④ 予習:(30分)模擬保育の発表者は、事前の準備、練習をしっかりと行うこと 復習:(60分)自他の模擬保育を比較して、気付いたこと・思ったことを箇条書きにもまとめること											
			14	子どもの言葉を育む保育の実践④—模擬保育の実施・振り返り 授業内小テスト⑤ 予習:(30分)模擬保育の発表者は、事前の準備、練習をしっかりと行うこと 復習:(60分)自他の模擬保育を比較して、気付いたこと・思ったことを箇条書きにもまとめること											
			15	子どもの言葉を育む保育の評価と改善—授業全体の振り返り(幼児の終わりまでに育てほしい姿「10の姿」等) 授業内小テスト⑥ 予習:(30分)これまでの授業内容について、教科書の該当箇所、資料等を見て確かめておくこと 復習:(60分)授業で学習したポイントを箇条書きで整理するとともに、気付きや考えもまとめること											
教科書・教材			谷田貝公昭・大沢裕 編著『保育内容 シリーズ④言葉』(一豊社) レジューメ												
参考書・参考文献等			厚生労働省『保育所保育指針(フレーベル館) 文部科学省『幼稚園教育要領(フレーベル館) 内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領(フレーベル館) 成田朋子 編著『言葉保育実践を支える言葉』(福村出版) 大豆生田啓友・佐藤浩代 編著『言葉の指導法』(玉川大学出版部)												
履修上の注意等			教科書の該当部分等、予習して授業に臨む。												
実務経験との関連			実務経験の有無	有	小学校教諭として、小学校での授業、教育委員会の研修会や校内研修会の講師、教育書籍の執筆等の実務経験をともに、幼児期の言葉の発達・獲得に関する理論や知識、技能を理解させ、具体的、実践的に学んでもらう。幼児期の言葉の指導に関する知識、技能及び小学校教育との接続について理解させ、的、実践的に学んでもらう。										

【2704】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
道徳教育の指導法			講義	齋藤雅俊	2年	後期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30		2	○				期末試験 42 無							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート							
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的 スキル	情報リテラシ ー	論理的 思考力	問題 解決力	自己 管理能力	チーム ワーク	リーダー シップ	倫理観	社会的 責任	生涯 学習力	《獲得した能力を 総合的に利用し、 自ら設定し、その 課題を解決する 能力》	授業内小テスト	45
当該科目の キーワード	《知識・理解》		道徳教育の歴史と学習指導要領の理解						授業内提出物(コメントペーパー) や模擬授業についての感想(ま とめ)を返却する。							
	《汎用的技能》		模擬授業での発表や質疑応答						アクティブラーニングの有無 (内容)	有						
	《態度・志向性》		模擬授業での協働													
授業概要	・「特別の教科 道徳」の指導のための理論と実践を学ぶ。 ・学校教育において道徳という特別の時間が生まれ、辿ってきた歴史を概観し、学習指導要領の内容や道徳科の特質をふまえたさま ざまな指導方法に精通していくことで、これからの道徳教育を創り上げていくための基礎力と応用力を形成していく。								模擬授業の準備、実行等							
授業の 到達目標	①道徳の歴史や理念について理解する。 ②学習指導要領で掲げられている道徳の目標や内容について理解する。 ③道徳教育のさまざまな指導法について理解する。 ④理解したことを指導案の作成や授業実践に生かすことができる。															
単位認定の要件	期末試験(42点)＋授業内提出物(45点)＋模擬授業等の活動(13点)＝60点以上															
授業計画 (予習、復習の内 容・時間含む)	回	内 容														
	1	道徳とは何か(理念と本質) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)														
	2	これまでの道徳教育の変遷①(教育史上の流れから) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)														
	3	これまでの道徳教育の変遷②(いじめ・情報モラルなど) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)														
	4	これまでの道徳教育の変遷③(子どもの心と道徳性の発達から) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)														
	5	学習指導要領における道徳教育及び道徳科の目標と主な内容①(A主として自分自身に関する事) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)														
	6	学習指導要領における道徳教育及び道徳科の目標と主な内容② (B主として人との関わりに関する事) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)														
	7	学習指導要領における道徳教育及び道徳科の目標と主な内容③ (C主として集団や社会との関わりに関する事) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)														
	8	学習指導要領における道徳教育及び道徳科の目標と主な内容④ (D主として生命や自然・崇高なものとの関わりに関する事) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)														
	9	学校における教育活動全体を通じた指導とカリキュラムマネジメント 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)														
	10	道徳科におけるさまざまな指導法の例(道徳教育アーカイブより) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)														
	11	道徳科におけるさまざまな教材とその活用について(道徳教育アーカイブより) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)														
	12	道徳科の特性をふまえた学習評価のあり方(個人内評価)について 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)														
	13	道徳科の指導案作成について 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)														
	14	模擬授業の実践①(A班を中心に) 予習:担当者は模擬授業の準備をする。(60分) 復習:担当者は自分が行った活動について振り返る。(60分)														
15	模擬授業の実践②(B班を中心に) 予習:担当者は模擬授業の準備をする。(60分) 復習:担当者は自分が行った活動について振り返る。(60分)															
教科書・教材	文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳』(※インターネット等でダウンロードしてもよい)															
参考書・ 参考文献等	パワーポイントによるまとめプリントを随時配布する。なお、配布物が多いため、各自綴じするためのファイルを用意すること。															
履修上の 注意等	新聞・テレビ等の教育関連情報に関心をはらうこと。また、出欠の不正(中抜け、無断退出、代返、コメントペーパー代筆、他人のコメントペーパーを参考にする等)の他、成績評 関する全ての不正については単位認定を不可とする。															
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無														

【2707】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
教育方法・技術(情報通信技術の活用含む)			講義	森本洋介	2年	後期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
2	15	30	必修	選択	小学校	幼稚園	保育士								
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末試験						
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を 総合的に利用し、 自ら設定し、その 課題を解決する 能力》	期末レポート
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		授業内小テスト
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		授業内活動 40 有
														その他	
														計 100	
														フィードバックの方法	
														授業内活動については各回授業の 最後の5分程度を用いてフィード バックを行う。授業内提出物につ いては評価を行ったものを本人に返 却する。	
当該科目の キーワード	《知識・理解》		主体的・対話的で深い学び									アクティブラーニングの有無 (内容)		有	
	《汎用的技能》		メディア・リテラシー												
	《態度・志向性》		探究力												
授業概要	本授業は、学習者の学びに対する意欲を引き出すための授業方法および評価方法について、経験的に学ぶことを目的としている。つまり、授業で取り扱う学習項目も重要であるが、自分たちがどのような授業を受けているのかを、方法的に意識化できるようにすることにより重点を置いて授業を進める。													PBL、グループワーク、探究学習	
授業の 到達目標	教育技術と教育評価の基本的な理論と事項について、メディア・リテラシー教育を軸としながらテキストを用いて理解する。主体的・対話的で深い学びの実現における基本的な要素を理解する。そのうえで、それらを実践するための基本的なスキルを獲得する。また、主体的・対話的で深い学びにおける学習者の学びをどのように評価するのか、パフォーマンス評価の方法についても理解する。														
単位認定の要件	到達目標の理解が60%以上であること。														
授業計画 (予習、復習の 内容・時間含む)	回	内 容													
	1	オリエンテーション 予習:(00分) 復習:(180分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。自分で興味のあることについて調べる。													
	2	第3章 教育技術の基本(教材、教授行為、学習形態) 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。													
	3	第1章 メディア・リテラシーとは何か 予習:(90分) 当該テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。													
	4	第2章 メディア・リテラシーと類似の能力との違い 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。													
	5	第5章 主体的・対話的で深い学び 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。													
	6	第9章 前半(学習評価) 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。													
	7	第9章 後半(ルーブリック作成) 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。													
	8	第12章 カナダのメディア・リテラシー教育 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。													
	9	第6章 GIGAスクール構想 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。													
	10	第7章 各教科でのメディア・リテラシー教育の実践 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。													
	11	第4章 子どもの発達とメディア・リテラシー教育 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。													
	12	第8章 小学校から高校までのメディア・リテラシー教育 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。													
	13	第9章 ユネスコのMILカリキュラムの実践 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。													
	14	第13章 三角形モデルを用いたテキスト分析の方法 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。													
	15	生成AIと学校教育 予習:(90分)当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。													
教科書・教材	森本洋介『子どもたちのクリティカルな思考を育むメディア・リテラシー教育の理論と実践』ミネルヴァ書房、2025														
参考書・ 参考文献等	ルネ・ホップス、デビッド・クーパー、ムーア著：森本洋介監訳『メディア・リテラシー教育と出会う—小学生がデジタルメディアとポップカルチャーに向き合うために』弘前大学出版会、2016年3月														
履修上の 注意等	指示をした回についてはスマホではなくパソコンを持ち込み、インターネットを授業中に使用できる環境を整えること。授業中の活動においてインターネットを使用することがある。受講者数や進行状況次第で予定が多少前後する可能性がある。スマホは出席確認のため毎回使用する。														
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無													

【2805】 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
子ども家庭支援の心理学			講義	新田史暁	2年	後期	子ども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
2	15	30		2				○	期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、適した課題へ適用し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 60 有 授業内提出物 40 有 授業内活動 その他 計 100 フィードバックの方法
	○		○			○				
	○		○			○				
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 子育て家庭の現状と家族発達の理解		≪汎用的技能≫ 子育て家庭における心理的支援の検討							
	≪態度・志向性≫									
						アクティブラーニングの有無(内容) 無				
授業概要	子どもにとって最も身近な社会集団である家族について理解するために、現代家族を取り巻く状況、家族発達のプロセス、子育てにおける問題とその援助等について概観する。また、授業を通して、「家族の役割」について問い、子どもとその家庭の包括的な支援方法を考える力の修得を目的とする。									
授業の到達目標	子どもとその家庭の包括的な支援方法を考える力を修得するために ①現代家族の社会的状況と課題について理解できる。 ②家族発達のプロセスと各段階の特徴を理解できる。 ③子どもの精神保健と親の役割について理解できる。									
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	子どもがいる家庭を理解・支援する意義 予習:(90分) 家族の定義の変遷について調べる。 復習:(90分) 家族の役割、機能について理解を深める。								
	2	システム論における家族の捉え方 予習:(90分) 家族システム論とはなにか調べる。 復習:(90分) 直線的因果律、円環的因果律の理解、家族ライフサイクル理論について理解を深める。								
	3	家族システムと家族発達 予習:(90分) 家族ライフサイクル理論とはなにか調べる。 復習:(90分) 家族の発達段階ごとの特徴について理解を深める。								
	4	乳幼児期～児童期の発達と家族の理解 予習:(90分) 乳幼児期、幼児期、児童期の心理的課題と危機について調べる。 復習:(90分) いやいや期への対応、非認知能力に関する実験について理解を深める。								
	5	思春期・青年期の発達と家族の理解 予習:(90分) 思春期・青年期に生じやすい心の問題について調べる。 復習:(90分) 思春期・青年に生じる様々な心理社会的変化と、問題について理解を深める。								
	6	成人期～老年期の発達と家族の理解 予習:(90分) 成人期・中年期・老年期の発達課題と危機について調べる。 復習:(90分) 成人期・中年期・老年期で生じやすい心理的問題やその対処・予防について理解を深める。								
	7	子育て経験と親としての育ち 予習:(90分) マタニティブルー・産後うつについて調べる。 復習:(90分) 産褥期に発生する精神障害、父親の成長、育児期に生じやすい問題について理解を深める。								
	8	子育てを取り巻く社会的状況 予習:(90分) 少子化に至った社会的背景について調べる。 復習:(90分) 未婚化・晩婚化の進行、夫婦の出生力の低下、少子化による子どもたちへの影響について理解を深める。								
	9	ライフコースと仕事と子育て 予習:(90分) ワークライフバランスのための社会政策について調べる。 復習:(90分) 育児期における家事・育児と仕事の両立、家庭・仕事に偏ることの問題について理解を深める。								
	10	多様な家庭の理解①ひとり親家庭、ステップファミリー 予習:(90分) ステップファミリーとはなにか、生じやすい問題について調べる。 復習:(90分) 離婚家庭による子どもへの影響、貧困家庭の現状、ステップファミリーについて理解を深める。								
	11	多様な家庭の理解②精神障害を抱える親(不安障害) 予習:(90分) 不安障害、パニック障害とはなにか調べる。 復習:(90分) 不安障害の分類、対応、治療について理解を深める。								
	12	多様な家庭の理解③精神障害を抱える親(気分障害) 予習:(90分) 気分障害とはなにか調べる。 復習:(90分) 気分障害の種類、対応、治療について理解を深める。								
	13	乳幼児～児童期の心理的問題①小児心身症 予習:(90分) 小児心身症とはなにか、どのようなときに発症するのか調べる。 復習:(90分) アトピー性皮膚炎・過敏性腸症候群・夜尿の症状と対応について理解を深める。								
	14	乳幼児～児童期の心理的問題②分離不安症・緘黙 予習:(90分) 緘黙とはなにか調べる。 復習:(90分) 愛着の問題による分離不安、緘黙の症状の特徴と対応について理解を深める。								
	15	授業内試験 予習:(90分) これまでの復習 復習:(90分) 試験内容の復習								
教科書・教材	適宜配布資料を用意する。									
参考書・参考文献等	原信夫・井上美鈴(編)「子ども家庭支援の心理学」(北樹出版)									
履修上の注意等	配布資料はよく整理し保管しておくこと。									
実務経験との関連	実務経験の有無	有	主に学校や心理相談室で子どもやその家族を援助した臨床経験を持つ教員が、子ども家庭を支援するための心理学的知識について講義する。							

【2806】 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
保育の計画と評価			講義	高橋正行	2年	前期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無		
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士			
2	15	30		2					○	期末試験		
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 50 無 授業内小テスト 授業内提出物 40 有 授業内活動 10 有 その他 計 100 フィードバックの方法	
	○	—	○	○	○	○	○	○	—	○		
	≪知識・理解≫ 全体的な計画、教育課程、10の姿、5領域		≪汎用的技能≫ 指導計画				≪態度・志向性≫ 保育の評価、保育の質の向上					指導案は評価後、返却する。受講者分を印刷し、内容を共有することもある。質問は授業内に適宜共有し、学びを深める手立てとする。
	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		保育の評価、保育の質の向上				アクティブラーニングの有無(内容) 有					
授業概要	子どもの発達理解を深めながら、保育の計画や評価についての基礎や意義を学び、現場で求められる指導計画の立案方法について、基本的知識を習得する。また、保育における計画、実践、記録、省察、評価、改善に基づいた保育実践を追求し、保育の営みについて理解を深める。									グループワーク、指導案作成、模擬保育、グループディスカッション		
授業の到達目標	子どもの理解に基づき、全体的な計画や教育課程の指導計画の作成について、その意義や具体的な方法について理解し立案する。また、PDCAサイクルの過程において、その全体的な構造を捉えながら、理解を深める。											
単位認定の要件	到達目標の合計が60点以上であること。											
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										
	1	保育の基本について 保育の遊びや環境・10の姿について学ぶ 予習:(90分)教科書P7~18の通読 復習:(90分)教科書やノートをもとに「10の姿、5領域」について振り返る。										
	2	教育課程・全体的な計画と指導計画について理解する 予習:(90分)教科書P19~36の通読 復習:(90分)教科書やノートをもとに「教育課程や全体的な計画」について振り返る。										
	3	幼稚園・保育所の理解 幼稚園における教育課程と保育所における全体的な計画、そして指導計画の実践について理解する 予習:(90分)教科書P37~92の通読 復習:(90分)まとめワーク(p66, p100)「幼稚園・保育所の理解」に取り組む。										
	4	指導計画の作成の基本とその方法(1) 指導計画の形式や手順、作成方法「子どもの姿」について学び作成する 予習:(90分)教科書P101~109の通読 復習:(90分)教科書やノートをもとに「子どもの姿」を記す視点について振り返る。										
	5	指導計画の作成の基本とその方法(2) 指導計画の作成方法「ねらいと内容」について学び作成する 予習:(90分)教科書P109~114の通読 復習:(90分)教科書やノートをもとに「ねらいと内容」の設定について振り返る。										
	6	指導計画の作成の基本とその方法(3) 指導計画の作成方法「時間・環境構成」予想される子どもの姿について学び作成する 予習:(90分)教科書P114~122の通読 復習:(90分)教科書やノートをもとに「時間と環境構成と予想される子どもの姿」の記述について振り返る。										
	7	指導計画の作成の基本とその方法について 指導計画の作成方法「保育者の援助」について学び作成する 予習:(90分)教科書P122~126の通読 復習:(90分)教科書やノートをもとに「保育者の援助」を記す視点について振り返る。										
	8	部分案の作成 子どもの姿から部分案「帰りの集い」を作成する 予習:(90分) p102~p126の再読 復習:(90分) 課題①「部分案 帰りの集い」への取り組みを振り返る。										
	9	部分案の作成 乳児、1、2歳児の発達の特徴を捉え、子どもの姿から部分案「2歳児」を作成する 予習:(90分)教科書P138~143の通読 復習:(90分)課題②「部分案 2歳児の活動」への取り組みを振り返る。										
	10	部分案の作成 3~5歳児の発達の特徴を捉え、子どもの姿から部分案「5歳児 運動遊び」を作成する 予習:(90分)教科書P146~151の通読 復習:(90分)課題③「部分案 5歳児の運動遊び」への取り組みを振り返る。										
	11	模擬保育①(模擬保育の計画、部分案の作成) 予習:(90分)対象児と保育内容について考えておく。 復習:(90分)部分案の作成、吟味、修正等を加える。										
	12	模擬保育②(部分案の作成) 予習:(90分)部分案の作成、吟味、修正を加える。 復習:(90分)作成した指導案を吟味し必要に応じて修正を加える。										
	13	模擬保育③ 予習:(90分)模擬保育の準備をする。 復習:(90分)自身や他者の模擬保育を振り返る。										
	14	模擬保育④ 予習:(90分)模擬保育の準備をする。 復習:(90分)自身や他者の模擬保育を振り返る。										
	15	保育の実践と評価 保育の評価、指導計画と教育課程・全体的な計画の評価、要録の理解について 予習:(90分)教科書P154~161の通読 復習:(90分)教科書やノートをもとに「保育の実践と評価」について振り返る。										
教科書・教材	『教育課程・保育の計画と評価—書いて学べる指導計画—』岩崎淳子他著 萌文書林											
参考書・参考文献等	『保育所保育指針解説』フレーベル館、『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 『0~5歳児指導計画の書き方がよくわかる本』川原佐公他 ひかりのくに、『実習の記録と指導案』山本淳子編著 ひかりのくに 『映像で学ぶ 幼稚園(認定こども園)教育実習における 主活動の「指導案」と「細案」の書き方』金子亜弥他 株式会社新宿スタジオ											
履修上の注意等	受講に当たり、乳幼児の発達過程について保育所保育指針や幼稚園教育要領を復習しておくこと。また、模擬保育の機会も設けるため、積極的に参加すること。保育内容を考える際には図書館の蔵書を活用するなど、事前から資料収集に努めること。											
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校教諭として指導案や各種指導計画を作成した経験がある教員が、小学校との接続を見通しながら指導を行う。									

【2809】 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
乳児保育Ⅱ			演習	吉田裕美子	2年	前期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士						
1	15	30			1				○	期末試験					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に自ら設定し、適切な課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート			
	○	—	—	○	—	—	—	—	○	○		○	—	○	計
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		乳児保育の基礎知識								提出物は、評価したのちに返却する。授業内試験は、採点后、返却し、授業中に解説する。				
	≪汎用的技能≫		乳幼児の援助・保育												
	≪態度・志向性≫		乳児保育の役割と責任												
授業概要	乳児保育Ⅰで学習した理論を演習を通して実践していく。新生児人形を使って、抱く、あやす、おむつ交換、授乳などの基本的な援助の方法から、乳児を安全に保育する上で欠かせない留意点について学ぶ。また、3歳未満児の保育指導計画を立案し、模擬保育を行った後、乳児が安全に遊べるおもちゃを作成して発表することにより、実践力を身に付けると同時に学生同士で学び合い理解を深める。										実技実習、グループディスカッション				
授業の到達目標	・3歳未満児の発育、発達の過程や特性を理解し、適切な援助方法を習得する。・3歳未満児の生活と遊びの特性を理解し、適切な保育指導計画を立案し、実践する。・乳児保育の社会的な役割について学び、保育者としての責任を理解する。														
単位認定の要件	試験、授業内活動、提出物の合計評価が60点以上の者に単位を認定する。														
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容													
	1	オリエンテーション 乳児保育の役割 新生児の特徴と生活 予習:(45分)毎日、新聞やニュースを見て、子どもに関する情報を集めておくこと。(授業内で発表あり) 復習:(0分)													
	2	乳児との関わり方① 抱き方、おむつ交換、衣服の着脱、発育測定、沐浴【実習】 予習:(45分)実習の内容についてテキスト等を確認し、要点を覚えてくる。 復習:(0分)													
	3	6か月未満の子どもの育ちと保育内容 予習:(45分)毎日、新聞やニュースを見て、子どもに関する情報を集めておくこと。(授業内で発表あり) 復習:(0分)													
	4	乳児との関わり方② 調乳と授乳【実習】 予習:(45分)実習の内容についてテキスト等を確認し、要点を覚えてくる。 復習:(0分)													
	5	6か月以上1歳未満の子どもの育ちと保育内容 予習:(45分)毎日、新聞やニュースを見て、子どもに関する情報を集めておくこと。(授業内で発表あり) 復習:(0分)													
	6	乳児との関わり方③ 離乳食【実習】 予習:(45分)実習の内容についてテキスト等を確認し、要点を覚えてくる。 復習:(0分)													
	7	1歳以上2歳未満の子どもの育ちと保育内容 予習:(45分)毎日、新聞やニュースを見て、子どもに関する情報を集めておくこと。(授業内で発表あり) 復習:(0分)													
	8	2歳以上3歳未満の子どもの育ちと保育内容 予習:(45分)毎日、新聞やニュースを見て、子どもに関する情報を集めておくこと。(授業内で発表あり) 復習:(0分)													
	9	乳児保育における指導計画①～子どもの1日の流れ(デイリープログラム)と保育環境 予習:(45分)毎日、新聞やニュースを見て、子どもに関する情報を集めておくこと。(授業内で発表あり) 復習:(0分)													
	10	乳児保育における指導計画②～短期指導計画と長期指導計画 予習:(45分)毎日、新聞やニュースを見て、子どもに関する情報を集めておくこと。(授業内で発表あり) 復習:(0分)													
	11	観察・記録及び自己評価 予習:(45分)毎日、新聞やニュースを見て、子どもに関する情報を集めておくこと。(授業内で発表あり) 復習:(0分)													
	12	柴田こども園での観察実習【実習】 予習:(0分) 復習:(0分)													
	13	授業内小テスト / 指導計画の作成 予習:(90分)試験範囲の復習 復習:(0分)													
	14	テストの返却と解説 / 安全に配慮したおもちゃの作成 予習:(45分)作成するおもちゃについて構想を練ってくる。 復習:(0分)													
	15	安全に配慮したおもちゃの作成 予習:(45分)締切に間に合うようおもちゃを作成してくる。 復習:(0分)													
教科書・教材	松本 峰雄 監修、池田 りな、才郷 眞弓、土屋 由、堀 科著、乳児保育演習ブック、ミネルヴァ書房														
参考書・参考文献等	「保育所保育指針」(平成29年告示)、「保育所保育指針解説書」厚生労働省編														
履修上の注意等	実習時の服装は、ジャージ、エプロン、名札、長い髪は後ろで1つに結うこと。														
実務経験との関連	実務経験の有無	無													

[2811] 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
社会的養護 I			講義	棟方梢	2年	前期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無		
2	15	30	必修	選択	小学校	幼稚園	保育士				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に自ら設定し、自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験	無
	○		○			○				期末レポート	有
	○		○			○				授業内小テスト	
	○		○			○				授業内提出物	50
○		○			○			授業内活動	50	有	
○		○			○			その他			
○		○			○			計	100		
○		○			○			フィードバックの方法			
○		○			○			授業内活動及び提出物は、受講者全体にコメントすることで授業内容をふり返り、理解を深めることとする。			
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		社会的養護、子どもの権利擁護の理解 双方向の伝達と表現、論理的思考力、概念化能力 ソーシャルワーク(援助)の視点、保育者としての倫理・資質						アクティブラーニングの有無(内容)	有	
授業概要	社会的養護は、公的責任のもと子どもを社会的保護・養育し、養育困難な家庭への支援を行う仕組みであるが、近年は幅広い家庭の子どもと子育てを支援することが求められている。そのため、社会的養護の理念や原則、歴史、体系と実践、子どもの権利擁護やソーシャルワークの基本的考え方、保育者としての資質や倫理、施設の運営管理等について学ぶ。								発表、グループディスカッション、グループワーク、調査学習		
授業の到達目標	社会的養護の理念や原則、歴史、体系と実践、子どもの権利擁護やソーシャルワークの基本的考え方、保育者としての資質や倫理、施設の運営管理等を理解し、自分の見解を口頭及び文章で説明することができる。										
単位認定の要件	到達目標に対して総合的に評価し、合計点が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	オリエンテーション、社会的養護の理念と概念 予習:(90分)シラバスや教科書pp.10~28を読み、「社会的養護」はどのようなことを意味するのか、事前に調べておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、社会的養護の理念と概念について要約し、自分の考えをまとめる。									
	2	社会的養護の歴史の変遷 予習:(90分)教科書pp.29~43を読み、社会的養護の歴史の変遷について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、社会的養護の歴史の変遷について要約し、自分の考えをまとめる。									
	3	子どもの権利擁護 予習:(90分)教科書pp.44~58を読み、子どもの権利擁護について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、子どもの権利擁護について要約し、自分の考えをまとめる。									
	4	社会的養護の体系と実践 予習:(90分)テキストpp.59~72を読み、社会的養護の体系と実践について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、社会的養護の体系と実践について要約し、自分の考えをまとめる。									
	5	社会的養護に関わる専門職・専門機関と倫理 予習:(90分)教科書pp.146~163を読み、社会的養護に関わる専門職・専門機関と倫理について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、社会的養護に関わる専門職・専門機関と倫理について要約し、自分の考えをまとめる。									
	6	施設養護の実践①(養護系施設) 予習:(90分)教科書pp.73~95を読み、養護系施設の目的・概要・支援内容等について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、養護系施設の目的・概要・支援内容等について要約し、自分の考えをまとめる。									
	7	施設養護の実践②(治療系施設) 予習:(90分)教科書pp.96~117を読み、治療系施設の目的・概要・支援内容等について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、治療系施設の目的・概要・支援内容等について要約し、自分の考えをまとめる。									
	8	施設養護の実践③(障がい系施設) 予習:(90分)教科書pp.132~145を読み、障がい系施設の目的・概要・支援内容等について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、障がい系施設の目的・概要・支援内容等について要約し、自分の考えをまとめる。									
	9	家庭養護の実践①(里親・養子縁組・特別養子縁組) 予習:(90分)教科書pp.118~125を読み、里親・養子縁組・特別養子縁組について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、里親・養子縁組・特別養子縁組について要約し、自分の考えをまとめる。									
	10	家庭養護の実践②(ファミリーホーム等) 予習:(90分)教科書pp.125~131を読み、ファミリーホーム等について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、ファミリーホーム等について要約し、自分の考えをまとめる。									
	11	社会的養護と在宅の子ども家庭支援 予習:(90分)社会的養護と在宅の子ども家庭支援について、Web等を活用して調べておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、社会的養護と在宅の子ども家庭支援について要約し、自分の考えをまとめる。									
	12	社会的養護とソーシャルワーク① 予習:(90分)教科書pp.164~173を読み、社会的養護とソーシャルワークについて考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、社会的養護とソーシャルワークについて要約し、自分の考えをまとめる。									
	13	社会的養護とソーシャルワーク② 予習:(90分)教科書pp.174~180を読み、社会的養護とソーシャルワークについて考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、社会的養護とソーシャルワークについて要約し、自分の考えをまとめる。									
	14	施設の運営管理と社会的養護における地域福祉 予習:(90分)教科書pp.181~189を読むことに加え、Web等を活用して施設の運営管理と社会的養護における地域福祉について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、施設の運営管理と社会的養護における地域福祉について要約し、自分の考えをまとめる。									
15	社会的養護における今後の展望と課題 予習:(90分)第1回~第14回の授業内容をふり返りを行い、社会的養護における今後の展望と課題について整理し、期末の取り組みに備える。 復習:(90分)第15回を含めた講義内容をふり返り、社会的養護における今後の展望と課題について自分の考えをまとめる。										
教科書・教材	喜多一 監修・堀場純矢編集(2024)「みらい×子どもの福祉ボックス 社会的養護 I [第2版]」みらいレジューメ等を配布する。										
参考書・参考文献等	大竹智・山田利子編集(2024)「保育と社会的養護 I [第2版]」みらい それ以外は、講義内で適宜案内する。										
履修上の注意等	グループワークを適宜行うため、受講者全員の協力姿勢や主体的な学習姿勢のほか、自己の見解を文章や口頭で他者に伝える力が求められる。真摯に学ぶ姿勢や主体的な参加は前向きに受け止め、授業への貢献度として加味する。よって、各自の強みを生かして、地道に且つ根気強く取り組むことが重要となる。										
実務経験との関連	実務経験の有無	有	福祉施設や社会福祉協議会における経験がある教員が、その経験を活かして、昨今の福祉的課題への対応を指導する。								

[2812] 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
社会的養護Ⅱ			演習	棟方梢	2年	後期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
1	15	30	必修	選択	小学校	幼稚園	保育士					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験		
	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	期末レポート
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		社会的養護、子どもの権利擁護の理解							授業内小テスト	50	有
	≪汎用的技能≫		双方向の伝達と表現、論理的思考力、概念化能力							授業内提出物	50	有
	≪態度・志向性≫		ソーシャルワーク(援助)の視点、保育者としての倫理・資質							授業内活動	50	有
授業概要	社会的養護は、公的責任のもと子どもを社会的保護・養育し、養育困難な家庭への支援を行う仕組みであるが、近年は幅広い家庭の子どもと子育てを支援することが求められている。そのため、子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容、施設養護及び家庭養護の実践、計画・記録・自己評価の実践、相談援助の方法・技術、子ども虐待の防止と家庭支援等について学ぶ。									発表、グループディスカッション、グループワーク、調査学習		
授業の到達目標	子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容、施設養護及び家庭養護の実践、計画・記録・自己評価の実践、相談援助の方法・技術、子ども虐待の防止と家庭支援等を理解し、子ども家庭福祉専門職としての役割や援助の実践と結びつけて考えることができる。											
単位認定の要件	到達目標に対して総合的に評価し、合計点が60点以上であること。											
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										
	1	オリエンテーション、社会的養護とは 予習:(90分)シラバスと教科書pp.10~17を読み、社会的養護を学ぶことの重要性を考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、社会的養護を学ぶことの重要性について要約し、自分の考えをまとめる。										
	2	社会的養護の基礎理解 予習:(90分)教科書pp.20~34を読み、社会的養護の理念と体系等を含む社会的養護の基礎理解について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、社会的養護の理念と体系等を含む社会的養護の基礎理解について要約し、自分の考えをまとめる。										
	3	社会的養護の支援内容① 予習:(90分)教科書pp.35~44を読み、社会的養護の支援内容について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、社会的養護の支援内容について要約し、自分の考えをまとめる。										
	4	社会的養護の支援内容② 予習:(90分)教科書pp.44~51を読み、社会的養護の支援内容について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、社会的養護の支援内容について要約し、自分の考えをまとめる。										
	5	支援計画と記録・評価① 予習:(90分)教科書pp.52~60を読み、支援計画と記録・評価について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、支援計画と記録・評価について要約し、自分の考えをまとめる。										
	6	支援計画と記録・評価② 予習:(90分)教科書pp.60~68を読み、支援計画と記録・評価について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、支援計画と記録・評価について要約し、自分の考えをまとめる。										
	7	社会的養護に関わる専門的技術① 予習:(90分)教科書pp.69~80を読み、社会的養護に関わる専門的技術について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、社会的養護に関わる専門的技術について要約し、自分の考えをまとめる。										
	8	社会的養護に関わる専門的技術② 予習:(90分)教科書pp.69~80を読み、社会的養護に関わる専門的技術について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、社会的養護に関わる専門的技術について要約し、自分の考えをまとめる。										
	9	社会的養護の実践①(養護施設) 予習:(90分)教科書pp.82~96を読み、養護施設支援の過程や視点について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、養護施設支援の過程や視点について要約し、自分の考えをまとめる。										
	10	社会的養護の実践②(養護施設) 予習:(90分)教科書pp.96~110を読み、養護施設支援の過程や視点について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、養護施設支援の過程や視点について要約し、自分の考えをまとめる。										
	11	社会的養護の実践③(養護施設) 予習:(90分)教科書pp.111~126を読み、養護施設支援の過程や視点について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、養護施設支援の過程や視点について要約し、自分の考えをまとめる。										
	12	社会的養護の実践④(治療施設) 予習:(90分)教科書pp.127~139を読み、治療施設支援の過程や視点について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、治療施設支援の過程や視点について要約し、自分の考えをまとめる。										
	13	社会的養護の実践⑤(障がい施設) 予習:(90分)教科書pp.140~153を読み、障がい施設支援の過程や視点について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、障がい施設支援の過程や視点について要約し、自分の考えをまとめる。										
	14	社会的養護の実践⑥(家庭養護) 予習:(90分)教科書pp.154~166を読み、家庭養護支援の過程や視点について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、家庭養護支援の過程や視点について要約し、自分の考えをまとめる。										
15	社会的養護の課題と展望 予習:(90分)教科書pp.167~175を読み、社会的養護の課題と展望について考えておく。 復習:(90分)授業内容をふり返り、社会的養護の課題と展望について要約し、自分の考えをまとめる。											
教科書・教材	喜多一 監修 堀場純矢 編集(2024)「みらい×子どもの福祉ボックス 社会的養護Ⅱ[第2版]」みらいレジュメ等を配布する。											
参考書・参考文献等	講義内で適宜案内する。											
履修上の注意等	グループワークを適宜行うため、受講者全員の協力姿勢や主体的な学習姿勢のほか、自己の見解を文章や口頭で他者に伝える力が求められる。真摯に学ぶ姿勢や主体的な参加は前向きに受け止め、授業への貢献度として加味する。よって、各自の強みを生かして、地道に且つ根気強く取り組むことが重要となる。											
実務経験との関連	実務経験の有無	有	福祉施設や社会福祉協議会における経験がある教員が、その経験を活かして、昨今の福祉的課題への対応を指導する。									

【2813】 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科																																
保育実習指導 I			演習	保育士課程委員会	2年	前期	こども発達学科																																
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無																														
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士																															
2	15	30		2				○	期末試験																														
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート																													
	○	—	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○																										
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 保育実習の意義・目的の理解		≪汎用的技能≫ 保育実習に向けた目標・課題の設定			≪態度・志向性≫ 実習生としての自覚醸成			外部講師の講話に関するレポートに講評を添えて返却する。 アクティブラーニングの有無(内容) 有																														
	授業概要 保育実習を円滑に進めていくための知識・技術を習得し、学習内容・課題を明確化するとともに、実習体験を深化させることをねらいとして、講義や視聴覚教材等を用いた演習を行う。また、実習施設の理解のために、現場の職員からの講話を聞く機会を設ける。		授業の到達目標 ①保育実習の意義・目的、各種実習施設の役割と機能の理解に基づき保育実習 I A・I Bにおける課題を明確化できる。 ②実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、守秘義務を理解できる。 ③保育所・社会福祉施設での実習に向けて、実習録の作成方法を理解するとともに実習目標・計画を立てることができる。 ④実習後に、実習総括・自己評価による省察を通して保育実習 II に向けた新たな課題や学習目標を明確化できる。			単位認定の要件 授業内提出物・授業内活動・課題レポートの合計点が60点以上であること。																																	
	授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>保育実習の概要、意義・目的と実習の段階・方法・内容の理解(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)1年次の保育士課程必修科目の内容を復習・整理しておく。 復習:(90分)保育実習 I A・I Bのシラバスと授業資料を基に、各種実習の目標・内容・方法をまとめる。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>保育士としての心構え～プライバシーの保護と守秘義務、子どもの人権尊重について～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)守秘義務がなぜ大切なのか、子どもの人権を尊重する保育について、考えをまとめる。 復習:(90分)子どもの人権を尊重した保育をするためには何が必要か、授業内容をもとに考えをまとめる。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>施設実習について(1)～児童福祉施設の役割～(こども発達学科教員) 予習:(90分)児童福祉施設の種類のほか、どのような子どもたちが利用するのか、春森にどれくらいあるのかを調べてくる。 復習:(90分)児童福祉施設を出た後にはどのような支援が必要か、授業内容を踏まえて考える。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>施設実習について(2)～事前の準備、事前訪問、書類の作成、礼状の書き方、細直検査等について～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習施設の種別について、第2・3回の授業内容を振り返って理解を深める。 復習:(90分)実習先に提出する書類の作成を行うとともに、実習実施要項の内容をもとに事前訪問の準備をする。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>実習施設の理解(1)～児童養護施設職員講話～(外部講師) 予習:(90分)児童養護施設の役割・機能、入所児童の特徴について調べる。 復習:(90分)講話から学んだ内容をレポートにまとめ提出する。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>保育所実習について(1)～保育所の一日の流れ～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)保育所の機能と役割、テリリープログラムについて調べる。 復習:(90分)保育所での各生活場面における子どもの理解方法はどのようなものが考えられるかをまとめる。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>実習録の書き方～施設実習、保育所実習～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習録とはどんなものか、どのような書式があるかを調べる。 復習:(90分)本学の保育実習録の書式と内容を確認し、何をどのように書くか考える。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>指導案の書き方(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)保育所の指導案はどのようなものがあるか、何を書くものなのかを調べておく。 復習:(90分)テリリープログラムと保育実技に関する学習内容を活かして、設定保育の指導案を書く。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>保育実技演習(手遊び、歌など)(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)年齢に合った手遊びや歌を調べておく。 復習:(90分)様々な教材を使って実際に実践する。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>実習施設の理解(2)～保育所保育士講話～(外部講師) 予習:(90分)保育所の機能と役割、保育士の業務内容について調べる。 復習:(90分)講話から学んだ内容をレポートにまとめ提出する。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>保育所実習について(2)～事前の準備、事前訪問、書類の作成について～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)保育実習に関して必要となる各種書類(個人調査票、評価票、誓約書など)の書式や内容について調べておく。 復習:(90分)本学の保育所実習で必要な書類を作成し、期限までに提出する。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>実習の段階と目標、実習計画の作成について 予習:(90分)保育実習の計画、実習段階と目標の関係について調べておく。 復習:(90分)保育実習 I A・I Bにおける実習の計画と目標の設定をする。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>実習の心得～実習の心得、諸注意～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習を行うにあたって実習生に求められることは何か調べておく。 復習:(90分)実習実施要項や授業資料をもとに、実習で求められることは何か、どのようなことに注意すべきかを考察する。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>保育実習 I A事後指導 実習総括・自己評価(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習アンケート・自己評価に回答しておく。 復習:(90分)グループワークの内容をまとめ、実習内容について省察する。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>保育実習 I B事後指導 実習総括・自己評価(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習アンケート・自己評価に回答しておく。 復習:(90分)グループワークの内容をまとめ、実習内容について省察する。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内 容	1		保育実習の概要、意義・目的と実習の段階・方法・内容の理解(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)1年次の保育士課程必修科目の内容を復習・整理しておく。 復習:(90分)保育実習 I A・I Bのシラバスと授業資料を基に、各種実習の目標・内容・方法をまとめる。	2	保育士としての心構え～プライバシーの保護と守秘義務、子どもの人権尊重について～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)守秘義務がなぜ大切なのか、子どもの人権を尊重する保育について、考えをまとめる。 復習:(90分)子どもの人権を尊重した保育をするためには何が必要か、授業内容をもとに考えをまとめる。	3	施設実習について(1)～児童福祉施設の役割～(こども発達学科教員) 予習:(90分)児童福祉施設の種類のほか、どのような子どもたちが利用するのか、春森にどれくらいあるのかを調べてくる。 復習:(90分)児童福祉施設を出た後にはどのような支援が必要か、授業内容を踏まえて考える。	4	施設実習について(2)～事前の準備、事前訪問、書類の作成、礼状の書き方、細直検査等について～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習施設の種別について、第2・3回の授業内容を振り返って理解を深める。 復習:(90分)実習先に提出する書類の作成を行うとともに、実習実施要項の内容をもとに事前訪問の準備をする。	5	実習施設の理解(1)～児童養護施設職員講話～(外部講師) 予習:(90分)児童養護施設の役割・機能、入所児童の特徴について調べる。 復習:(90分)講話から学んだ内容をレポートにまとめ提出する。	6	保育所実習について(1)～保育所の一日の流れ～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)保育所の機能と役割、テリリープログラムについて調べる。 復習:(90分)保育所での各生活場面における子どもの理解方法はどのようなものが考えられるかをまとめる。	7	実習録の書き方～施設実習、保育所実習～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習録とはどんなものか、どのような書式があるかを調べる。 復習:(90分)本学の保育実習録の書式と内容を確認し、何をどのように書くか考える。	8	指導案の書き方(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)保育所の指導案はどのようなものがあるか、何を書くものなのかを調べておく。 復習:(90分)テリリープログラムと保育実技に関する学習内容を活かして、設定保育の指導案を書く。	9	保育実技演習(手遊び、歌など)(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)年齢に合った手遊びや歌を調べておく。 復習:(90分)様々な教材を使って実際に実践する。	10	実習施設の理解(2)～保育所保育士講話～(外部講師) 予習:(90分)保育所の機能と役割、保育士の業務内容について調べる。 復習:(90分)講話から学んだ内容をレポートにまとめ提出する。	11	保育所実習について(2)～事前の準備、事前訪問、書類の作成について～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)保育実習に関して必要となる各種書類(個人調査票、評価票、誓約書など)の書式や内容について調べておく。 復習:(90分)本学の保育所実習で必要な書類を作成し、期限までに提出する。	12	実習の段階と目標、実習計画の作成について 予習:(90分)保育実習の計画、実習段階と目標の関係について調べておく。 復習:(90分)保育実習 I A・I Bにおける実習の計画と目標の設定をする。	13	実習の心得～実習の心得、諸注意～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習を行うにあたって実習生に求められることは何か調べておく。 復習:(90分)実習実施要項や授業資料をもとに、実習で求められることは何か、どのようなことに注意すべきかを考察する。	14	保育実習 I A事後指導 実習総括・自己評価(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習アンケート・自己評価に回答しておく。 復習:(90分)グループワークの内容をまとめ、実習内容について省察する。	15	保育実習 I B事後指導 実習総括・自己評価(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習アンケート・自己評価に回答しておく。 復習:(90分)グループワークの内容をまとめ、実習内容について省察する。	教科書・教材 厚生労働省編『保育所保育指針』フレーベル館 厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館
回	内 容																																						
1	保育実習の概要、意義・目的と実習の段階・方法・内容の理解(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)1年次の保育士課程必修科目の内容を復習・整理しておく。 復習:(90分)保育実習 I A・I Bのシラバスと授業資料を基に、各種実習の目標・内容・方法をまとめる。																																						
2	保育士としての心構え～プライバシーの保護と守秘義務、子どもの人権尊重について～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)守秘義務がなぜ大切なのか、子どもの人権を尊重する保育について、考えをまとめる。 復習:(90分)子どもの人権を尊重した保育をするためには何が必要か、授業内容をもとに考えをまとめる。																																						
3	施設実習について(1)～児童福祉施設の役割～(こども発達学科教員) 予習:(90分)児童福祉施設の種類のほか、どのような子どもたちが利用するのか、春森にどれくらいあるのかを調べてくる。 復習:(90分)児童福祉施設を出た後にはどのような支援が必要か、授業内容を踏まえて考える。																																						
4	施設実習について(2)～事前の準備、事前訪問、書類の作成、礼状の書き方、細直検査等について～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習施設の種別について、第2・3回の授業内容を振り返って理解を深める。 復習:(90分)実習先に提出する書類の作成を行うとともに、実習実施要項の内容をもとに事前訪問の準備をする。																																						
5	実習施設の理解(1)～児童養護施設職員講話～(外部講師) 予習:(90分)児童養護施設の役割・機能、入所児童の特徴について調べる。 復習:(90分)講話から学んだ内容をレポートにまとめ提出する。																																						
6	保育所実習について(1)～保育所の一日の流れ～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)保育所の機能と役割、テリリープログラムについて調べる。 復習:(90分)保育所での各生活場面における子どもの理解方法はどのようなものが考えられるかをまとめる。																																						
7	実習録の書き方～施設実習、保育所実習～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習録とはどんなものか、どのような書式があるかを調べる。 復習:(90分)本学の保育実習録の書式と内容を確認し、何をどのように書くか考える。																																						
8	指導案の書き方(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)保育所の指導案はどのようなものがあるか、何を書くものなのかを調べておく。 復習:(90分)テリリープログラムと保育実技に関する学習内容を活かして、設定保育の指導案を書く。																																						
9	保育実技演習(手遊び、歌など)(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)年齢に合った手遊びや歌を調べておく。 復習:(90分)様々な教材を使って実際に実践する。																																						
10	実習施設の理解(2)～保育所保育士講話～(外部講師) 予習:(90分)保育所の機能と役割、保育士の業務内容について調べる。 復習:(90分)講話から学んだ内容をレポートにまとめ提出する。																																						
11	保育所実習について(2)～事前の準備、事前訪問、書類の作成について～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)保育実習に関して必要となる各種書類(個人調査票、評価票、誓約書など)の書式や内容について調べておく。 復習:(90分)本学の保育所実習で必要な書類を作成し、期限までに提出する。																																						
12	実習の段階と目標、実習計画の作成について 予習:(90分)保育実習の計画、実習段階と目標の関係について調べておく。 復習:(90分)保育実習 I A・I Bにおける実習の計画と目標の設定をする。																																						
13	実習の心得～実習の心得、諸注意～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習を行うにあたって実習生に求められることは何か調べておく。 復習:(90分)実習実施要項や授業資料をもとに、実習で求められることは何か、どのようなことに注意すべきかを考察する。																																						
14	保育実習 I A事後指導 実習総括・自己評価(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習アンケート・自己評価に回答しておく。 復習:(90分)グループワークの内容をまとめ、実習内容について省察する。																																						
15	保育実習 I B事後指導 実習総括・自己評価(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習アンケート・自己評価に回答しておく。 復習:(90分)グループワークの内容をまとめ、実習内容について省察する。																																						
参考書・参考文献等		内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館																																					
履修上の注意等		配布した参考資料は保管し、予習・復習に活用すること。 実習終了後に2・3年生合同で行われる反省報告会には必ず参加すること。																																					
実務経験との関連		実務経験の有無	有 (吉田・工藤(千)) 幼児教育の現場経験を有する教員が手遊び・歌などの保育実技を指導する。																																				

【2814】 専門教育科目 保育士に関する科目		授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
保育実習 I A		実習	保育士課程委員会	2年	後期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件						免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無		
			必修		選択				小学校	幼稚園	保育士			
2			2								○	期末試験		
学力力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然			≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	
	授業内小テスト													
	授業内提出物													
	実習施設の評価	60	無	大学の評価		40	無	計		100	フィードバックの方法			
													実習録の記入状況を保育士課程委員会が評価し、講評を添付して返却する。	
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 保育所の役割・機能、保育内容の理解			≪汎用的技能≫ 保育士・職員との協働				≪態度・志向性≫ 実習状況の省察				アクティブラーニングの有無(内容)	有	
授業概要	本実習は保育実習 I (保育所・園)として、保育所・園の生活に参加し、直接のかかわりを通して、乳幼児の理解を深めるとともに、保育所の機能と保育士の職務について学ぶ。											保育への参加と補助、子どもへの関わり・支援の実践を通じた学び		
授業の到達目標	①保育所の役割と機能を具体的に理解できる。 ②観察や子どもとの関わりを通して子どもの発達過程や個人差を具体的に理解できる。 ③子どもの保育及び保護者支援についての理解を既習科目の内容と適切に関連付けて説明できる。 ④保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に省察内容を表現できる。 ⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解しその内容を説明できる。													
単位認定の要件	規定日数の実習を行ったうえで、実習施設の評価と大学評価の合計が60点以上であること。													
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)	内 容 10日間の本実習については、観察・参加実習が中心になる。 指導内容や日程計画については、実習園の事情や実習生の状況に応じて下記の内容で適宜指導をお願いする。 1. 保育所の役割と機能 (1)保育所における子どもの生活と保育士の援助・関わり (2)保育所保育指針に基づく保育の展開 2. 子どもの理解 (1)子どもの観察とその記録による理解 (2)子どもの発達過程の理解 (3)子どもへの援助や関わり 3. 保育内容・保育環境 (1)保育の計画に基づく保育内容 (2)子どもの発達過程に応じた保育内容 (3)子どもの生活や遊びと保育環境 (4)子どもの健康と安全 4. 保育の計画・観察・記録 (1)全体的な計画と指導計画及び評価の理解 (2)記録にもつづく省察・自己評価 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理 (1)保育士の業務内容 (2)職員間の役割分担や連携・協働 (3)保育士の役割と職業倫理 【授業時間外学習の指示】 実習記録の作成を通じて毎日の実習目標の設定とその達成状況への省察を行い、新たに課題を見出すよう努めること。													
教科書・教材	厚生労働省編『保育所保育指針』フレーベル館 厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館													
参考書・参考文献等	幼少年教育研究所編『新版 遊びの指導—乳・幼児編—』同文書院 石橋裕子・林幸徳(編)『知りたいときにすぐわかる 幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド』同文書院													
履修上の注意等	体調管理を徹底するとともに、事前訪問時の指導内容を理解した上で準備を整えて実習に臨むこと。実習録・自己評価票等の書類提出状期限を厳守すること。													
実務経験との関連	実務経験の有無	有	(吉田・工藤(千))幼児教育に従事した経験を有する教員が実習期間中に巡回訪問指導を行う。											

[2815] 専門教育科目 保育士に関する科目		授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科							
保育実習 I B		実習		保育士課程委員会		2年	後期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無				
			必修		選択			小学校	幼稚園	保育士					
2				2						○			期末試験		
学力力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目		≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然			≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》		期末レポート	
		授業内小テスト		授業内提出物		実習施設の評価		60	無						
		大学の評価		40	無	計		100	フィードバックの方法						
		実習録の記入状況に関する保育士課程委員会が評価を行い、講評を添付して返却する。		アクティブラーニングの有無(内容)	有										
授業概要		本実習は児童福祉法施行規則に基づく「保育実習実施基準」により、福祉施設の役割を実地に学び、そこに生活する子ども(利用者)や職員との直接的かかわりを通して、将来の保育士としての資質の向上を図ることをねらいとする。									施設利用児・者への働きかけ・支援方法などの観察と参加を通じた学び				
授業の到達目標		①各種福祉施設の役割や内容を具体的に理解できる。 ②観察や子ども・施設利用者との関わりを通して得た養護・保育への理解を具体的に説明できる。 ③既習科目の内容を踏まえ、福祉施設における保育と保護者支援について総合的に理解した内容を適切に説明できる。 ④保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に省察内容を表現できる。 ⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解しその内容を説明できる。													
単位認定の要件		規定日数の自習を行った上で実習施設と大学の評価の合計が60点以上であること。													
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)		10日間の本実習については、観察・参加実習が中心になる。 指導内容や日程計画については、各施設の人員や実習生の状況に応じて下記の内容で適宜指導をお願いする。 1. 施設の役割と機能 (1)施設における子ども・施設利用者の生活と保育士の援助や関わり (2)施設の役割と機能 2. 子どもの理解 (1)子ども・施設利用者の観察とその記録 (2)個々の状態に応じた援助や関わり 3. 施設における子どもの生活と環境 (1)計画に基づく活動や援助 (2)子ども・施設利用者の心身の状態に応じた生活と対応 (3)子ども・施設利用者の活動と環境 (4)健康管理、安全対策の理解 4. 計画と記録 (1)支援計画の理解と活用 (2)記録に基づく省察・自己評価 5. 専門職としての保育士の役割と倫理 (1)保育士の業務内容 (2)職員間の役割分担や協働 (3)保育の役割と職業倫理 【授業時間外学習の指示】 実習記録の作成を通じて毎日の実習目標の設定とその達成状況への省察を行い、新たに課題を見出すよう努めること。													
教科書・教材		厚生労働省(編)『保育所保育指針』フレーベル館 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館													
参考書・参考文献等		石橋裕子・林幸徳(編)『知りたいときにすぐわかる 幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド』同文書院 田中利則(監修)『事例を通して学びを深める 施設実習ガイド』ミネルヴァ書房													
履修上の注意等		体調管理を徹底するとともに、事前訪問時の指導内容を理解した上で準備を整えて実習に臨むこと。 実習録・自己評価票等の書類提出期限を厳守すること。													
実務経験との関連		実務経験の有無	有	(吉田・工藤(千))幼児教育の実務経験を有する教員が実習期間中に巡回訪問指導を行う。											